



未来へつなぐ 心安らぐ 国際文化都市

第二次三沢市総合振興計画

2018.4-2028.3



三沢市 2018年3月

目次 INDEX

計画の策定にあたって	1
計画の概要	2
基本構想	5
基本理念	6
三沢市の人口	9
計画の方向性	13
土地利用基本方針	15
基本計画	17
大綱と政策	18
01 子どもからお年寄りまでの生活を守る	20
02 互いに支えあうまちをつくる	22
03 災害や事故から市民を守る	24
04 充実した医療で市民を守る	26
05 きれいな水と自然を守る	28
06 道路・建物・公園を使いやすくする	30
07 まちの家計を守る	32
08 みんなが学べるまちをつくる	34
09 まちの景気を良くする	36
10 質の高い行政サービスを提供する	38
レーダーチャート	40
参考資料	43

計画の策定にあたって

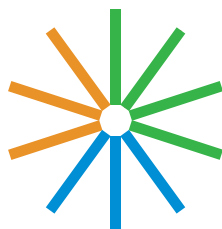
三沢市では、2008年度（平成20年度）から2017年度（平成29年度）までを計画期間とした三沢市総合振興計画に基づき、「人とまち みんなで創る 国際文化都市」を目指し、学校や道路、公共施設などの整備を進めたほか、子育て支援や国際交流教育など、人材育成にも力を注いできました。その成果を踏まえつつ、これからの10年を考えると、特に人口減少がもたらす地域社会・経済への影響はますます大きくなると予想され、財政の健全化を保ちながら、地域の課題に対処しつつ、未来に向けた取り組みを進めることは容易なことではありません。

このような大きな変化を迎えた本市にとって、本計画は時代の荒波の中を進むための羅針盤であり、進むべき道を指し示すものです。計画策定にあたっては、三沢市民意識調査や三沢まちづくり座談会でいただいた皆様からの声を踏まえて、市内各界の代表者からなる三沢市総合計画審議会にて審議を重ねたところであり、市民の皆様と力を合わせて計画が目指す姿、住民相互が信頼し合う社会を実現したいと考えています。

結びに、本計画の策定にあたり、三沢市総合計画審議会委員の皆様、三沢市民意識調査及び三沢まちづくり座談会などを通じて貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様、市議会議員並びに関係団体の皆様に心から感謝申し上げます。

2018年3月 三沢市長 種市 一正

シンボルマーク



本計画の3つの大綱を3色に分け、10の政策を線で表した図形。それぞれの政策が未来に向かって伸びていくことで、国際文化都市が大きな輪になり発展していく様子をイメージしています。





2018.4

名 称 Name

第二次三沢市総合振興計画

-Misawa City Second Comprehensive Development Plan-

期 間 Span

基本構想 2018.4 —————→ 2028.3

基本計画

前 期	後 期
2018.4 —→ 2023.3	2023.4 —→ 2028.3

構 成 Structure

基本構想

Basic Concept

三沢市が目指す姿
を示します。

基本計画

Basic Plan

基本構想に基づき、具体的
な政策・施策を示します。

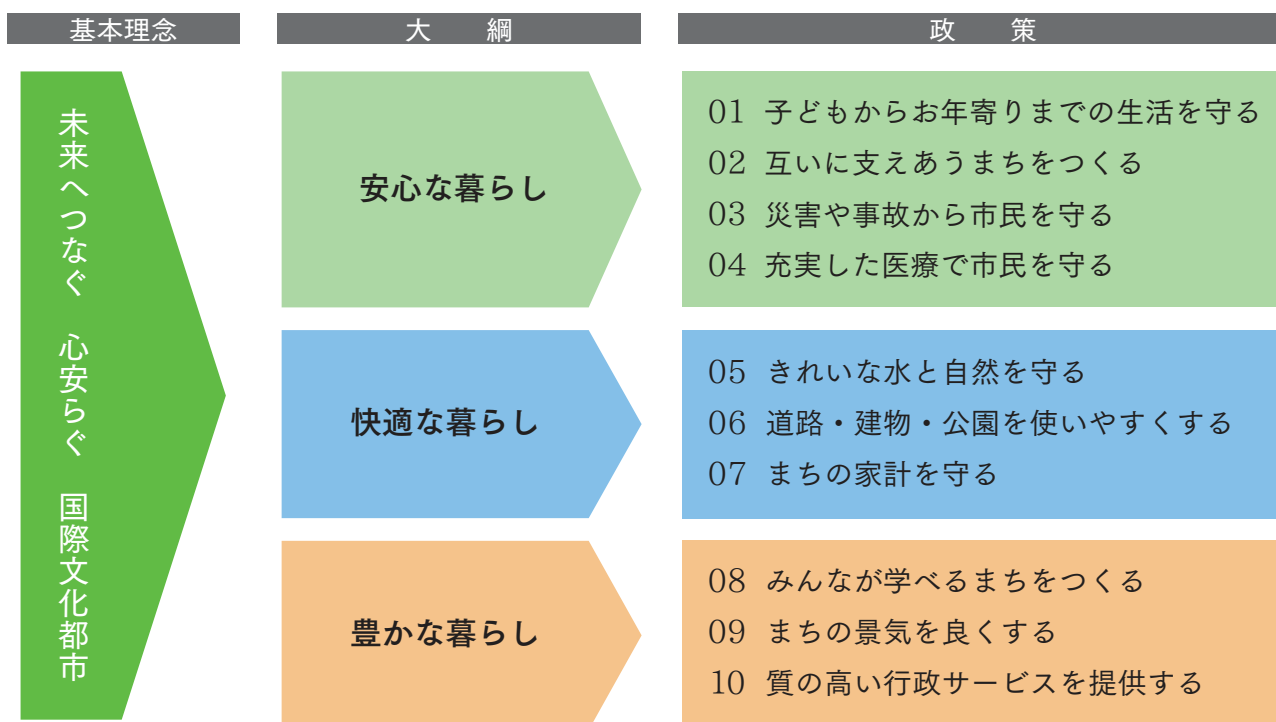
実施計画

Implementation Plan

基本計画を実現するため
の事務事業を示します。

2028.3

体 系 Framework





未来へつなぐ 心安らぐ 国際文化都市

International Cultural City with Peaceful Future



三沢に暮らすすべての人が、多様な文化を尊重し、
心豊かで国際性に富んだまちをつくりましょう。

三沢が持つ素晴らしい伝統・文化・自然を活かして
穏やかな暮らしを守りましょう。

三沢の子どもたちの未来をみんなで創り、
希望あふれる明日へと贈りましょう。



A photograph of three children playing soccer on a sandy field. In the foreground, a girl in a red cap and blue jersey holds a yellow soccer ball. Behind her, a boy in a white cap and blue jersey is reaching out. In the background, another boy in a red cap and glasses is visible. The scene is outdoors with green foliage in the background.

Present

現在

2015年
(平成27年)

三沢市の人口

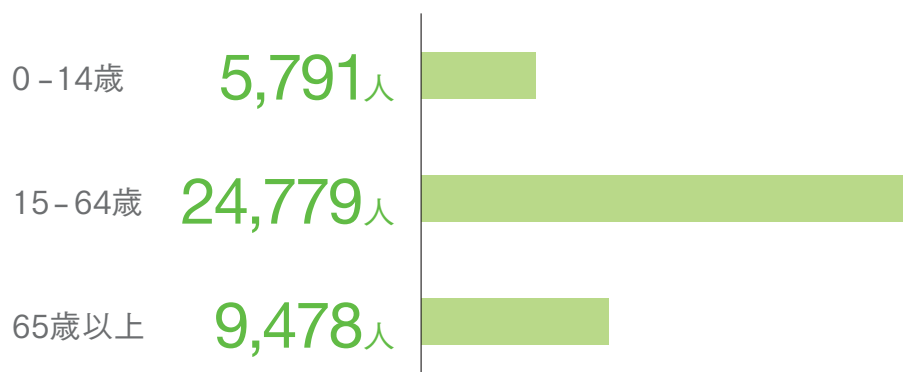
国勢調査に基づく三沢市の人口は、1985年(昭和60年)に、40,000人を超え、2000年(平成12年)には42,495人に達しましたが、その後は減少し、2015年(平成27年)は40,196人となっています。

40,196人



1975年 (昭和50年) 1985年 (昭和60年) 1995年 (平成7年) 2005年 (平成17年) 2015年 (平成27年)

三沢市の年齢別人口は、2015年(平成27年)は、年少人口(0～14歳)5,791人、生産年齢人口(15～64歳)24,779人、高齢者人口(65歳以上)9,478人となっています。



※年齢不詳 148人

Future

未 来

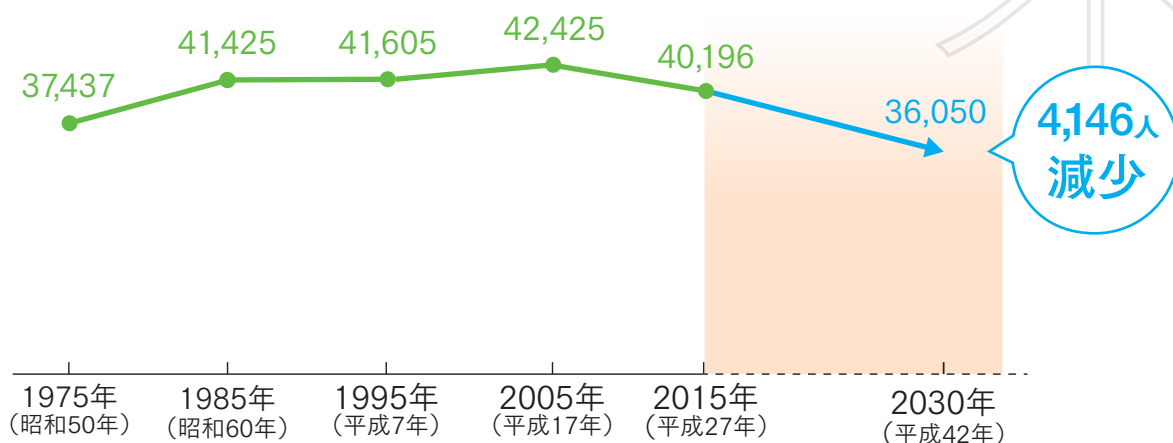


2030年
(平成42年)

三沢市の人口

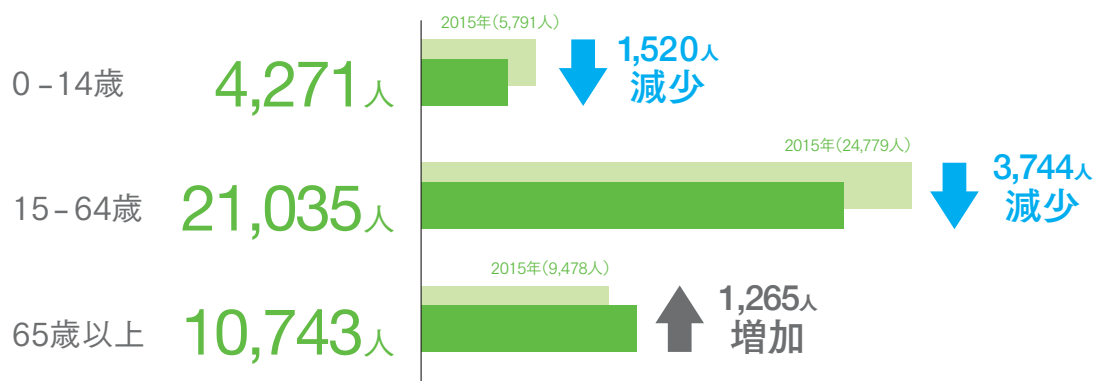
国立社会保障・人口問題研究所による2010年(平成22年)国勢調査を基にした将来推計人口によれば、2030年に36,050人、2060年には25,377人になると予測されています。

40,196人 → 36,050人



※年齢不詳 148人を含む

国立社会保障・人口問題研究所による2010年(平成22年)国勢調査を基にした将来推計人口によれば、2030年(平成42年)は、年少人口4,271人、生産年齢人口21,035人、高齢者人口10,743人と推計されています。



※推計値のため、端数処理をしています。

Compass

未来へのコンパス



計画の方向性

1 「維持」と「挑戦」

人口減少や高齢化、厳しい財政状況といった社会環境の中、これまでのような総花的な考え方や取り組みでは、これからの地域課題に対応することが難しくなることから、市の限られた資源の効率的・効率的な配分が求められています。

そこで、本計画では基本計画に政策とその実現のための施策について、**日々の暮らしを守るために“維持”し続ける分野と未来を切り開くために“挑戦”する分野**に分けて考え、それぞれに必要な指標を掲げ、その達成のために適切な資源配分を行います。

2 「伝える」と「わかる」

社会環境の変化とともに、IT分野を中心とした技術の進歩は、人々の生活スタイルを変化させ続けています。これまで情報の多くは、新聞やテレビに代表されるマスメディアから発信されたものでしたが、昨今はインターネットを介したSNSなどの通信手段の発達により、個人による情報の発信が社会全体に影響を与え得る時代となりました。

このような変化を踏まえつつ、本計画の策定を契機として、市が発信する情報を正しく市民一人ひとりに伝えるため、発信する情報の内容や伝達手段に配慮するとともに、**"わかりやすさ"**を大切にします。

3 信頼が育む「協働」

社会・経済問題を背景とした地域のさまざまな課題を解決するためには、行政だけでなく、企業のほかNPOをはじめとするまちづくり団体や町内会などさまざまな主体が目標を共有し、協力して取り組むことが求められています。

そこで、各主体の自主・自立性を尊重しながら個々の能力や資源を補完・活用するため、主体間の**信頼と互恵関係を高める**ことを目指します。

4 PDCAサイクルの運用

本計画の基本理念に基づき掲げた政策、施策の目標を実現するために実施する事務事業は、常に改善が求められることから、計画・実行・検証・改善を着実に進めていきます。



Landscape

美しい郷土





土地利用基本方針

三沢市土地利用基本方針は、人が文化的生活を営むための共通の基盤であり、限りある資源である土地の有効活用を図る観点から、土地の開発、保全のみならず景観や地域の文化にも配慮して、無秩序な開発を抑制するとともに、その場所に住む人々の暮らしの質を高めることを目的に、土地利用の基本的な考え方を示すものです。

1 快適な住環境の整備

本市では、市民の暮らしの「場」である住環境を整えるため、自然環境や農地との調和を図りながら、都市機能を高めることで良好な市街地の形成を図っています。一方で、今後の人口減少と高齢化により市街地を中心として空き地・空き家の増加が予想されており、良好な住環境の維持に支障をきたす恐れがあります。

そこで、快適で文化的に生活できる空間を維持・形成するため、住宅地や商業地の機能性を高めるだけでなく、景観や土地の文化的背景にも考慮して地域の基盤を維持・整備します。

2 農業振興と田園風景の保全

本市は、畜産、畑作を中心に県内でも有数な農業生産地としての役割を果たしており、また農村集落を含む田園風景は、緑豊かな景観を形成する重要な要素となっています。このため、更なる農業生産力の向上を図るべく無秩序な開発を抑制しながら農用地の高度活用を促進するとともに、人口減少により発生することが予想される集落内の空き地・空き家への対策を行い、優良な農地と快適な農村空間を確保していく必要があります。

3 自然環境の保全と共生

太平洋に面した海岸、小川原湖や仏沼を中心とした豊かな自然環境や、その周辺に広がる農地や牧野などの牧歌的な景観は、本市の住民のみならず、市外に住む方々にとっても貴重な財産となっています。これらの地域は、森林による水源かん養機能を有していることに加えて、レジャーなど自然を生かした自然と人との触れ合いの「場」として、多くの可能性を持っています。また、海岸沿いの保安林は災害の防備などの重要な公益的機能を持っていることも踏まえて、保全地域と活用地域を適切に区分した土地利用を進めます。



大綱と政策

基本理念を実現するための3つの大綱と
それに連なる10の政策を設定しました。

01

子どもから
お年寄りまでの
生活を守る

10

質の高い
行政サービスを提供する

豊かな暮らし

10年先も、その先も日々の
暮らしが豊かになりますように。
学びや仕事をとおして
心も生活も満たされる
まちを目指します。

09

まちの景気を
良くする



08

みんなが学べる
まちをつくる



07

まちの家計を守る



06

道路・建物・公園を
使いやすくする

02

互いに支えあう
まちをつくる

100%



100%

50%

100%

50%



100%

05

きれいな水と
自然を守る

安心な暮らし

平穏無事な毎日の生活が
ずっと続きますように。
子どもからお年寄りまで
安心できる暮らしを守ります。

03

災害や事故から
市民を守る



04

充実した医療で
市民を守る

快適な暮らし

毎日が心地良く過ごせますように。
成熟した社会にふさわしい、
快適な暮らしができる
まちを築きます。

子どもからお年寄りまでの生活を守る

三沢市民それぞれの年代に応じて、生活の不安を軽減し、
健やかで心豊かに暮らせるよう支援します。



維持

2018

2022

現状の福祉サービスを守りながら、

施策達成率

介護給付

介護サービスを着実に運営し、
給付額の適正な運用を継続します。

介護認定者のサービス利用率

87.1% → 93.0%

2016年度

2022年度

障がい者支援

障がい者が安定した生活を送れるよう
支援を継続します。

障がい者からの相談対応率

100% → 100%

2016年度

2022年度

生活困窮者相談

毎日の暮らしに困っている人に対し、
それぞれの事情に沿った対応を継続します。

生活困窮者からの相談対応率

100% → 100%

2016年度

2022年度

健康相談

市民が健康状態を知り、相談できる機会を提供します。

相談実施回数

89回/年 → 89回/年

2016年度

2022年度

国民健康保険

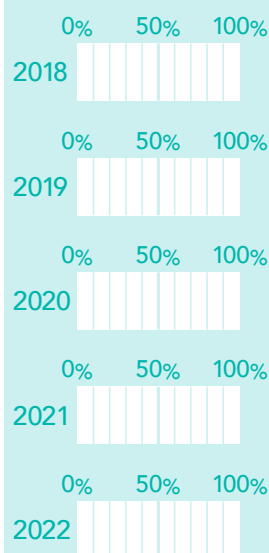
保険給付や医療費の適正化に努め、
安定的な制度運営を行います。

被保険者一人当たりの医療費の県平均との比較

97.1% → 県平均以下

2015年度

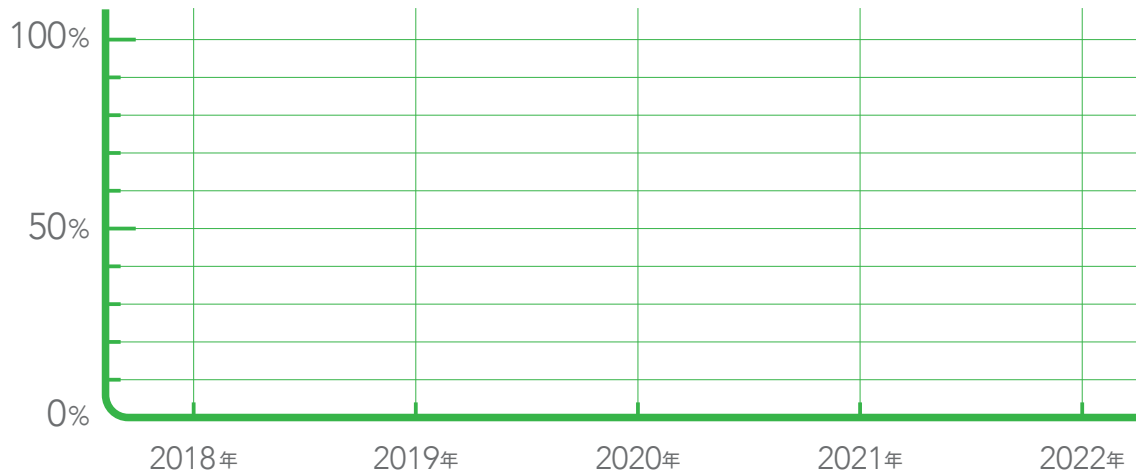
2022年度



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。
この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



挑戦

2018

2022

子育てに参加する人を増やします。

介護予防

「いきいきデイセンター」の利用や
老人クラブなどへの加入を促進します。

介護予防事業の参加者数(延べ数)

39,324人/年 → 45,000人/年
2016年度 2022年度

子育て支援

子育て支援制度を活用した事業を促進します。

子育て支援センター利用者数(延べ数)

13,417人/年 → 25,700人/年
2016年度 2022年度

疾病の早期発見

さまざまな疾病の検診受診率を向上します。

各種がん検診受診率(胃・大腸・肺・子宮・乳)

18.2~30.8% → 35.0~45.0%
2016年度 2022年度

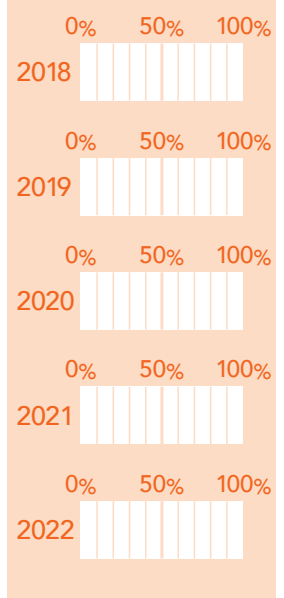
生活保護

生活保護受給者の生活状況を把握し、
制度に沿った生活を営めるよう支援していきます。

生活保護世帯への訪問率

60.9% → 100%
2016年度 2022年度

施策達成率



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

互いに支えあうまちをつくる

市民の皆さんが安心して暮らせるように、犯罪や事故などの予防など、さまざまな問題の解決に取り組みます。併せて、地域の支え合いや住民同士のつながりを強める地域の活動を積極的に支援します。



維持

2018

2022

日々の穏やかな暮らしをサポートしながら、

施策達成率

基地対策

航空機騒音や基地関係者による
事件・事故などに対応できる体制を維持し続けます。

特殊な訓練・重大な事件事故の情報提供率

100% → 100%

2016年度

2022年度

市民相談

市民がかかえる
暮らしのトラブル解消へのサポートを継続します。

市民相談機会の提供回数

48件/年 → 48件/年

2016年度

2022年度

消費者相談

詐欺などの被害を未然に防止するため、
情報提供と相談窓口を提供し続けます。

消費者保護の情報提供回数

20件/年 → 20件/年

2016年度

2022年度

交通安全・防犯対策

警察、母の会等の関係団体と連携し、
安全・防犯意識をさらに高めます。

交通安全・防犯対策の啓発活動件数

54件/年 → 54件/年

2016年度

2022年度

バス交通

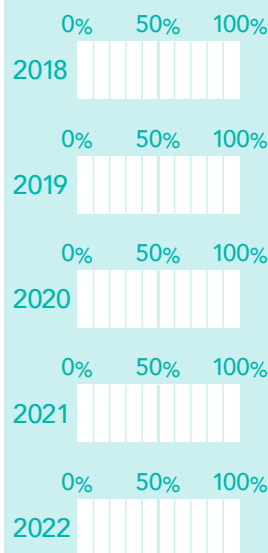
バスや電車の利用者に合わせた路線を維持します。

コミュニティバス(みーばす)輸送人員(延べ数)

122,399人/年 → 122,399人/年

2013~2016年度の平均値

2022年度

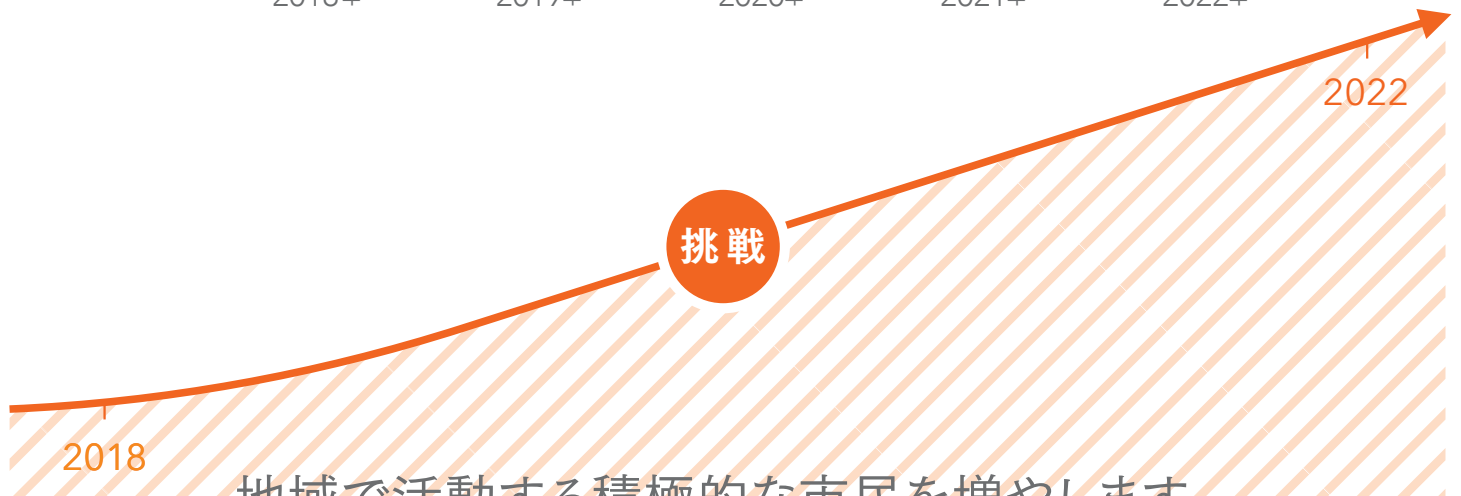
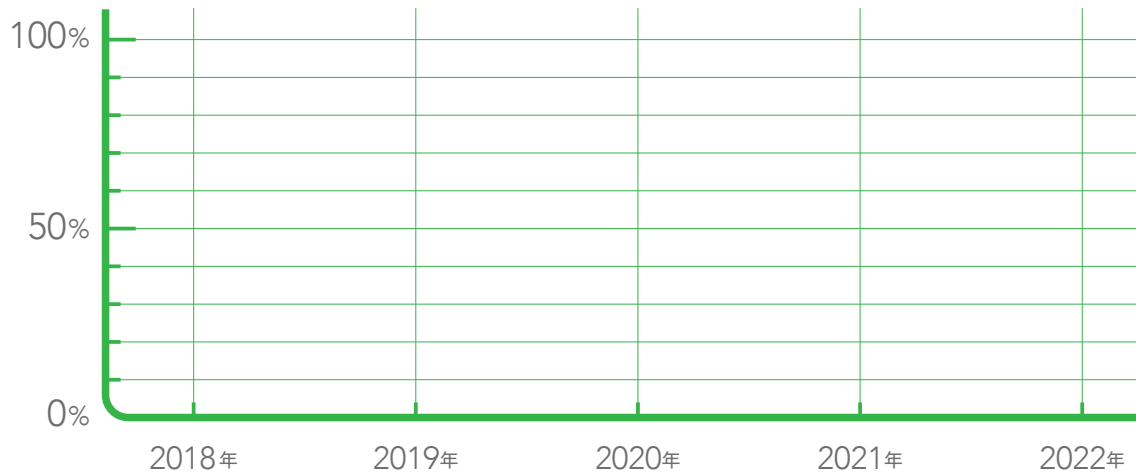


※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。

この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



地域で活動する積極的な市民を増やします。

施策達成率

地域活動

市民活動団体を支援することにより、
地域全体の活力向上を図ります。

市民活動団体数

122団体

2016年度



125団体

2022年度

町内会加入の増加件数

4件/年

2016年度



10件/年

2022年度

まちづくり市民ファシリテーターの数(延べ数)

12人/年

2017年度

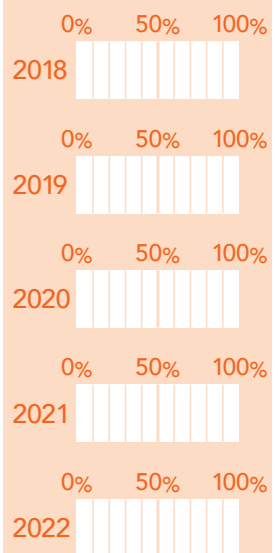


18人/年

2022年度

人づくり

地域課題の解決を促進するために、
地域と人をつなげる人材を育成します。



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

災害や事故から市民を守る

三沢市民の安全・安心のため、火災をはじめとするさまざまな災害に対応する力を高め、できる限り被害を小さくするとともに、予防に努めます。



維持

2018

2022

災害への備えを整えながら、

施策達成率

消防訓練

多くの方々が集まる施設を中心に消防訓練を実施し、防火意識を啓発し続けます。

訓練実施数

250回/年 → 250回/年

2013~2016年度の平均値

2022年度

防災・減災対応

災害時の被害を最小限にするため、住民と連携した総合防災訓練を継続します。

三沢市全体の防災訓練実施回数

1回/年 → 1回/年

2013~2016年度の平均値

2022年度

予防活動

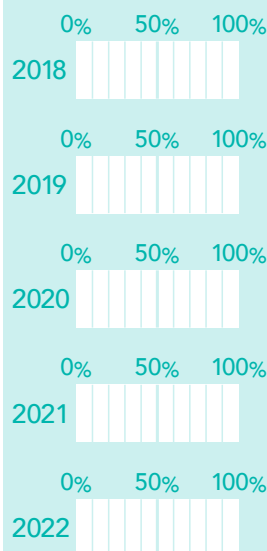
建物を検査し、違反を速やかに是正することで、火災を予防します。

防火対象物・危険物施設の検査実施数

500件/年 → 500件/年

2013~2016年度の平均値

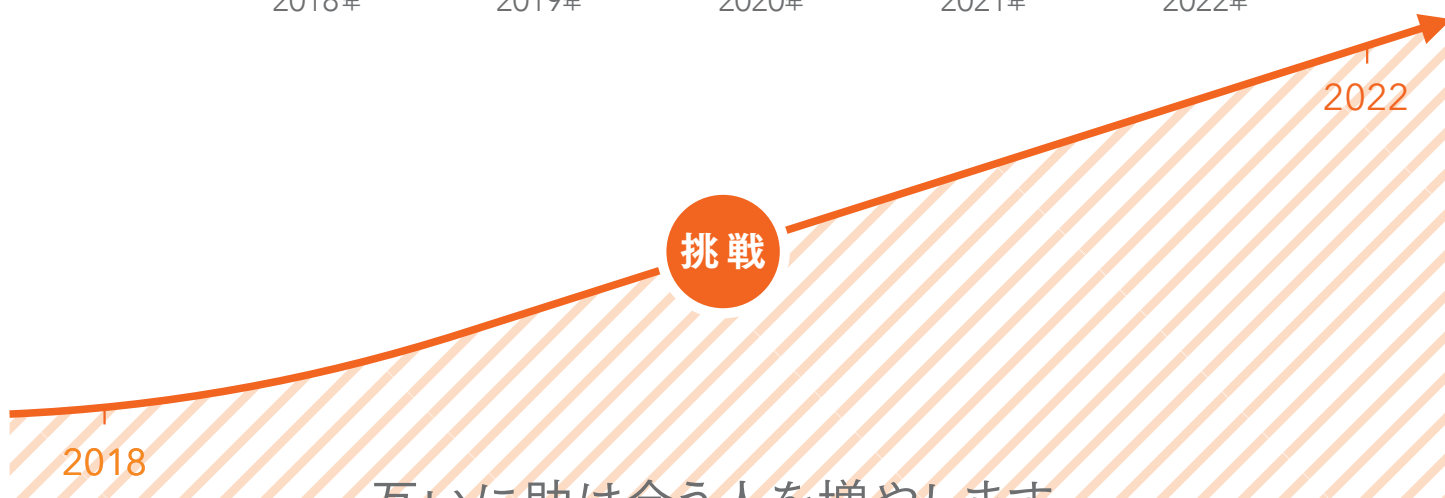
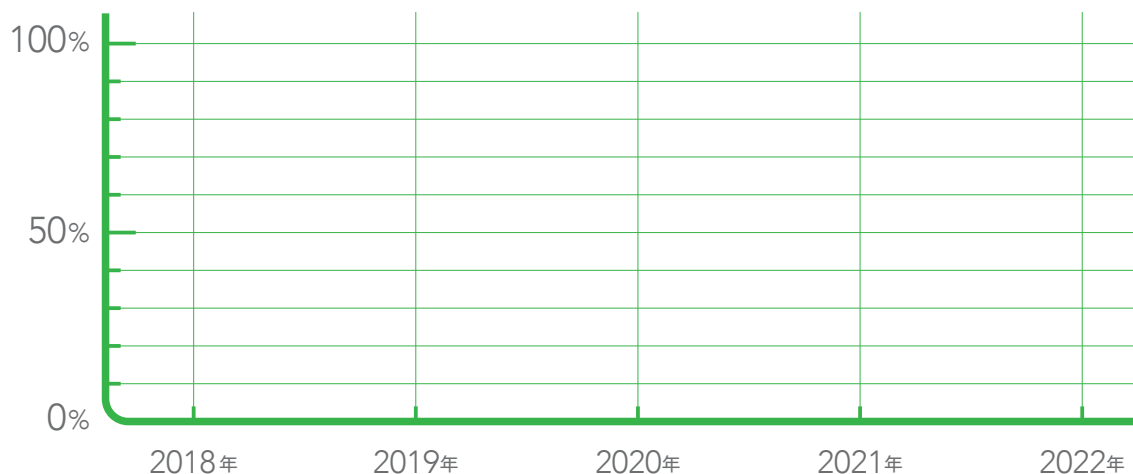
2022年度



※数値は毎年度、市のホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。
この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



地域防災

災害への対応力を高めるため、
自主防災組織の結成を進めます。

自主防災組織の組織数

44 団体

2016年度



49 団体

2022年度

消防設備

消火栓、防火水槽等の消防水利や消防車、
救急車等の設備を整備・更新します。

消防水利の充足率

71.4%

2016年度



76.0%

2022年度

救命講習

市民一人ひとりが救命に関する知識を深めることで、
救命率^(注)の向上を目指します。

救命講習会受講者数

1,502人/年

2013~2016年度の平均値



2,000人/年

2022年度

(注) 救命率とは、心肺停止状態から蘇生した人の割合

消防団

地域防災体制の中心である
消防団員の加入や定着を進めます。

消防団員数

301人

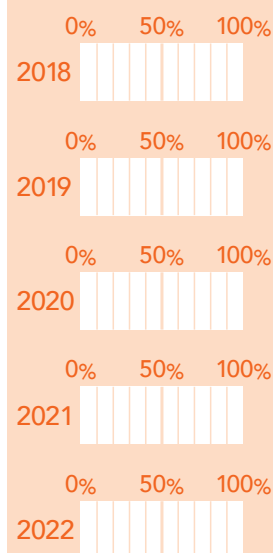
2016年度



320人

2022年度

施策達成率



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

充実した医療で市民を守る

三沢市民や近隣住民が安心して医療を受けられる体制を整え、高度で先進的な医療や利用者の心に寄り添った看護などの良質な医療サービスを提供します。



維持

2018

2022

病院経営の健全化を図り、

施策達成率

病院利用

さまざまな医療機関と連携しつつ、地域の中核病院としての役割を果たします。

入院・外来患者数(延べ数)

(入院)
64,428人/年 → 70,080人/年
2016年度 2022年度

(外来)
95,830人/年 → 99,630人/年
2016年度 2022年度

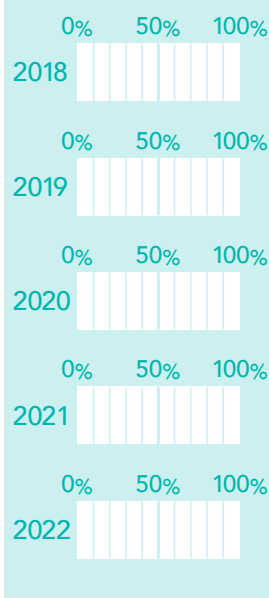
経常収支比率

92.6% → 97.6%
2016年度 2022年度

病院経営

多くの方が安心して医療を受けられるように、健全な病院経営を維持し続けます。

(注) 経常収支比率(%) = $\frac{(\text{医業収益} + \text{医業外収益})}{(\text{医業費用} + \text{医業外費用})} \times 100$

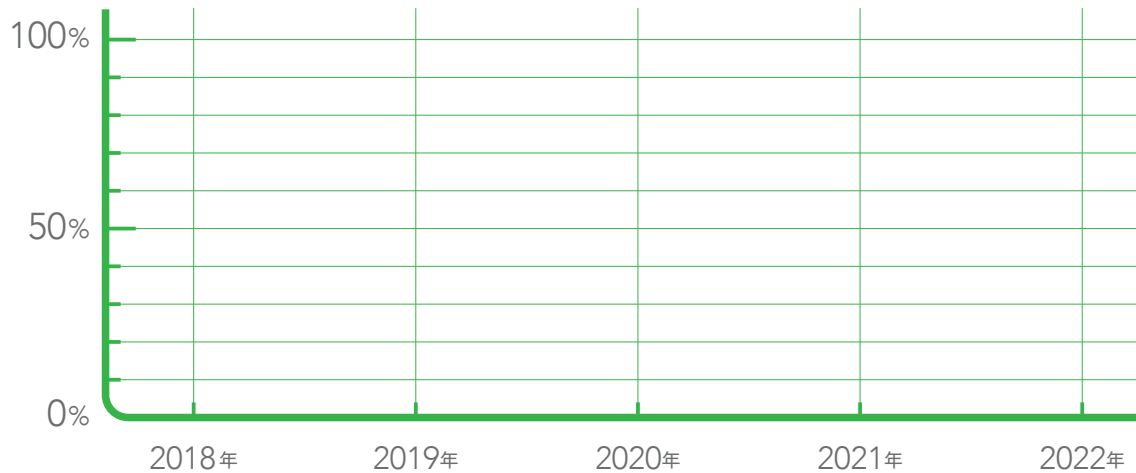


※数値は毎年度、市のホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。

この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



挑戦

2018

2022

良質な医療サービスを提供します。

人材確保

医師や看護師などの人材を確保し、
更なる医療体制の向上に努めます。

高度医療

PET-CT検査^(注)の利用促進を図り、
がんの早期発見、早期治療につなげます。

(注) PET-CT検査とは、特殊な薬剤を注射し、その体内の分布を特殊なカメラで映像化する診断法。
早期の小さながんの発見や部位の正確な特定などの診断が高い精度でできる。

市立三沢病院の職員数

261人

2016年度

276人

2022年度

PET-CT検査件数

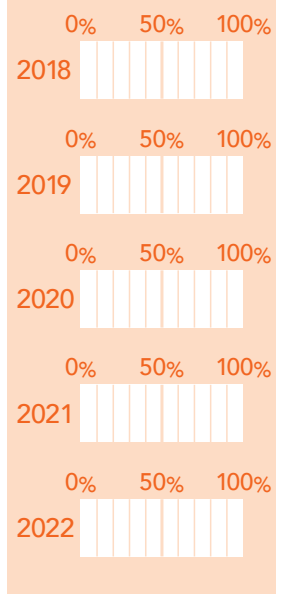
1,037件/年

2016年度

1,200件/年

2022年度

施策達成率



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

きれいな水と自然を守る

生活になくてはならない大切な水の安全性を守るとともに、水資源の保全に努めます。



維持

2018

2022

水の安全と自然環境を守りながら、

施策達成率

管理体制

訓練や点検を実施し、
災害などの場合に素早く対応できる体制を整えます。

公害対策

公害の発生状況を監視し、
その対策を継続します。

ごみの処理

ごみ処理の方法について情報発信し、
不法投棄の防止を啓発し続けます。

民間企業との会議・訓練回数

1回/年



1回/年

2013~2016年度の平均値

2022年度

公害に関する苦情等への対応率

100%



100%

2016年度

2022年度

不法投棄の啓発活動件数

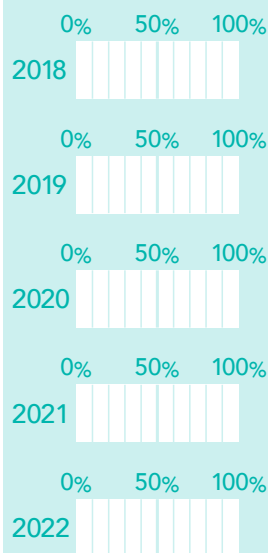
10件/年



10件/年

2016年度

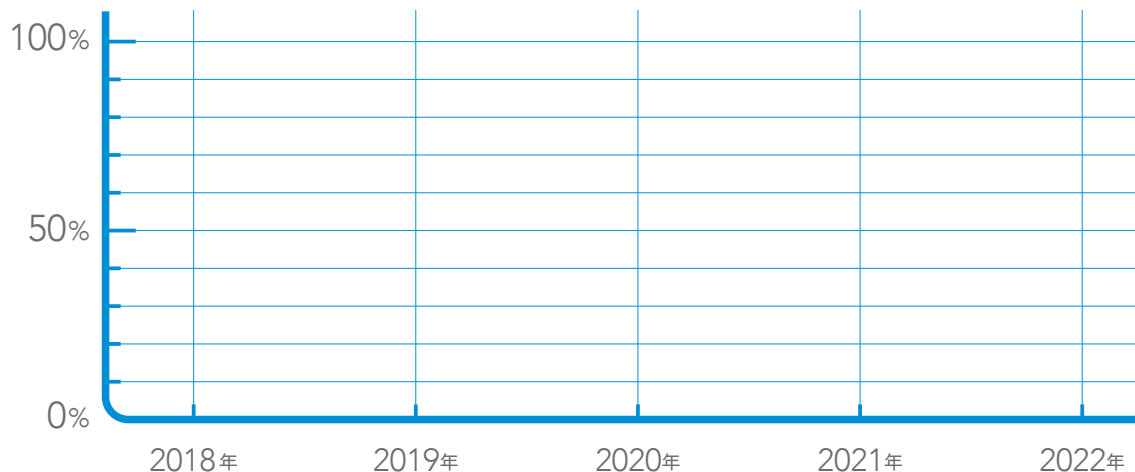
2022年度



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。
この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



挑戦

2018

2022

環境を思いやる人を増やします。

下水道

下水道に接続できる地域を広げます。

下水道普及率

76.2%

2016年度



83.1%

2022年度

水洗化

下水道に接続する戸数を増やします。

下水道を使える人のうち実際に使っている人の割合

84.8%

2016年度



87.6%

2022年度

水道施設

老朽化した施設や設備を見直し、
安全な水を届けます。

水道管の耐震化率

38.7%

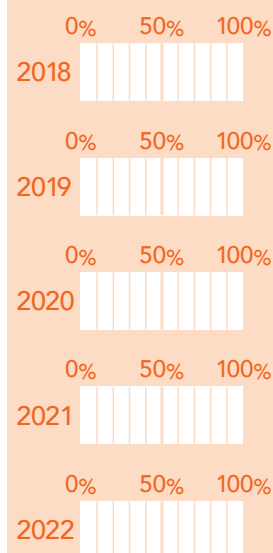
2016年度



45.9%

2022年度

施策達成率



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

道路・建物・公園を使いやすくする

三沢市民が安全で便利な暮らしを送れるように、道路や建物、憩いの場としての公園等を作ったり直したりします。



維持

2018

2022

生活道路を維持しつつ、

生活道路

住宅街などの身近な道路を安全に通行できる状態を保つため、維持管理を継続します。

道路に関する相談・苦情の対応率

100%

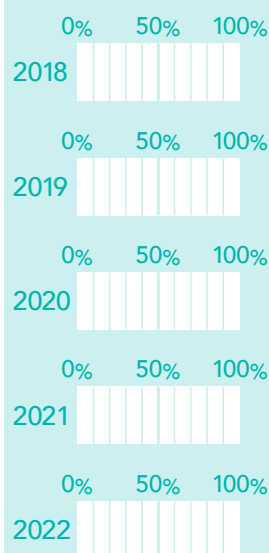
2016年度



100%

2022年度

施策達成率

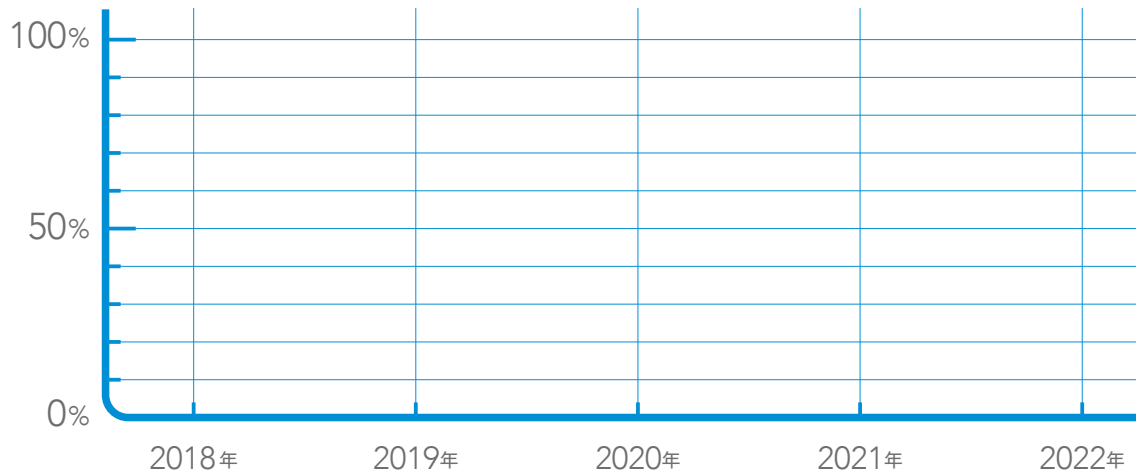


※数値は毎年度、市のホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。

この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



挑戦

2018

2022

道行く人や公園を利用する人を増やします。

施策達成率

道路整備

地域の主要な道路の安全性や利便性を確保するため、整備を進めます。

市道の舗装率

81.0%

2016年度



81.9%

2022年度

歩道整備

歩行者の利便性や安全性を向上させるため、歩道の整備を進めます。

整備した歩道延長

83.3km

2016年度



89.3km

2022年度

公園整備

憩いの場である公園が、安心かつ安全であるように整備を進めます。

安全に使える公園施設の割合

80.7%

2016年度



85.5%

2022年度

公営住宅

対象となる方が安全な住まいを確保できるように、予防保全型の管理^(注)を行い、公営住宅を維持します。

(注) 予防保全型の管理とは、損傷や劣化が進行する前に適切な対策を行う管理のこと

良好な公営住宅戸数率

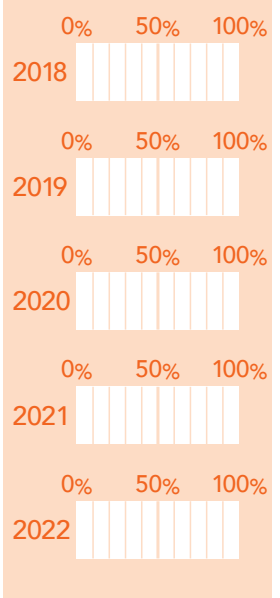
85.5%

2016年度



94.1%

2022年度



※数値は毎年度、市のホームページで公表します。

まちの家計を守る

三沢市民が納めたお金を効果的にやり繰りします。

収入を保ち、財布の中を減らすことなく計画的な支出を行い、三沢市の家計を維持します。



維持

2018

2022

赤字にならないように備えながら、

施策達成率

財政運営

健全な財政運営を維持し、
公債費^(注)の抑制に努めます。

(注) 公債費とは、自治体が借り入れた地方債の元利償還費と一時借入金の利息の合計

実質公債費比率^(注)

11.1%

2016年度



18%未満

2022年度

(注) 実質公債費比率とは、自治体の収入に対する負債返済の割合

納税手段

市税の口座振替など、
さまざまな納税手段を維持します。

口座振替加入率

24.9%

2016年度



24.9%

2022年度

公有財産

未利用の公有財産の活用を進め、
財源を確保します。

普通財産の使用率

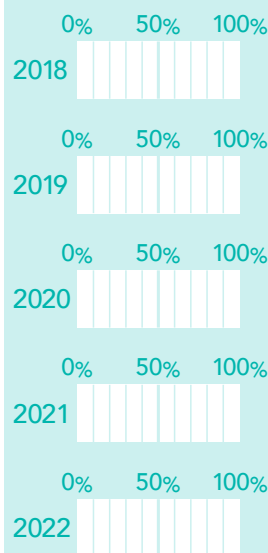
24.1%

2016年度



24.1%

2022年度

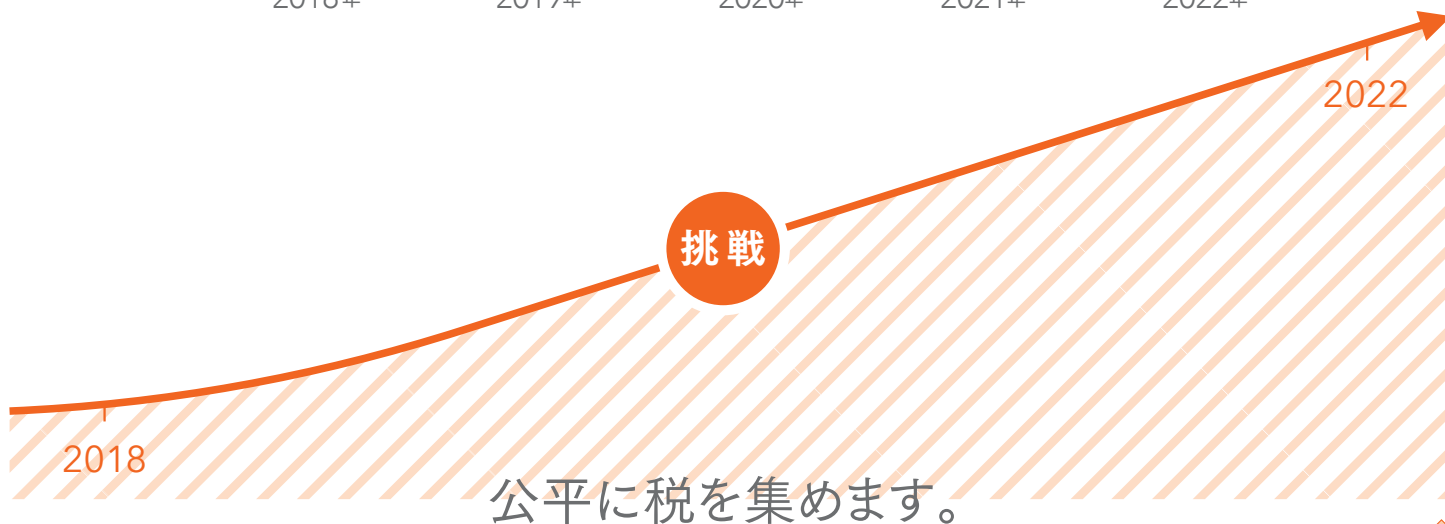
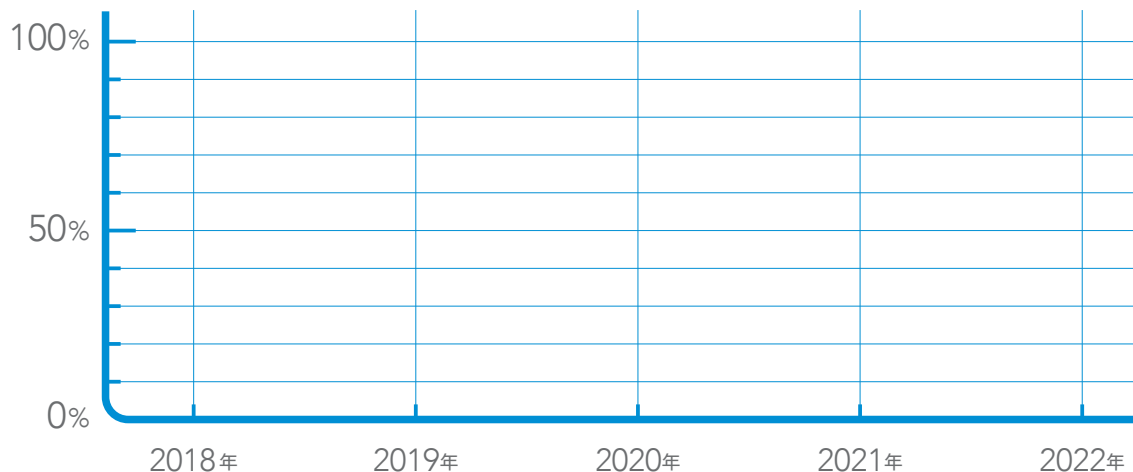


※数値は毎年度、市のホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。

この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



市税収納

市税の収納率を青森県平均以上にします。

収納率

94.3%

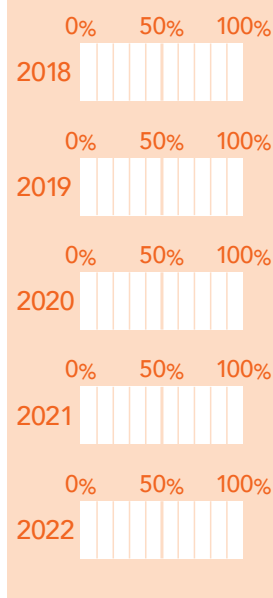
2016年度



95.1%

2022年度

施策達成率



※数値は毎年度、市のホームページで公表します。

みんなが学べるまちをつくる

子どもからお年寄りまで三沢市民がいつでも学ぶことができる環境を整え、誰もが多くの学びに触れられるようにサポートします。



維持

2018

2022

教育・文化・スポーツ基盤を守りながら、

施策達成率

教育施設

施設の老朽化対策・安全対策・衛生管理をし続けます。

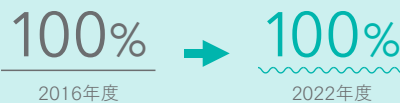
市内教育施設の改修進捗率



教育相談

不登校児童・生徒向けの相談体制を維持し続けます。

教育相談への対応率



文化

三沢市公会堂など文化活動の拠点を維持し続けます。

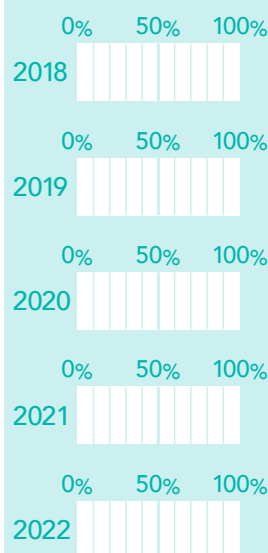
文化施設の利用者数(延べ数)



スポーツ

運動施設を拠点としたスポーツ活動を支援し続けます。

運動施設の利用者数(延べ数)

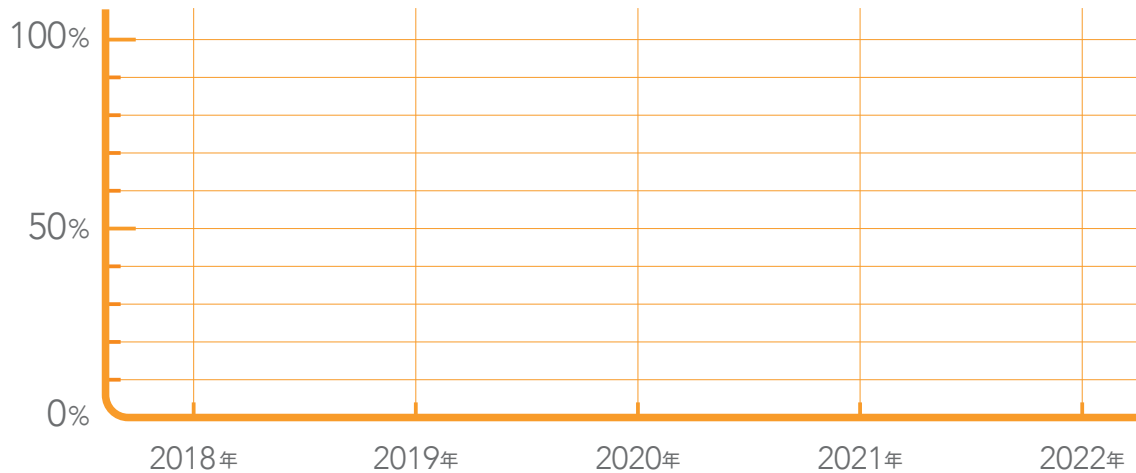


※数値は毎年度、市のホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。

この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



挑戦

2018

2022

グローバルに活躍できる人材を育てます。

施策達成率

グローバル人材

三沢市の特徴を活かした
グローバルな学びの機会を提供します。

グローバル人材育成事業参加者数(延べ数)

49人/年 → 66人/年

2013~2016年度の平均値

2022年度

地域ぐるみの教育

地域の人材のネットワーク化と
学びの場づくりを支援します。

地域と学校との協働活動参加者数(延べ数)

- → 12,600人/年

2016年度

2022年度

英語教育

市内小中学校の英語教育を推進します。

中学校3年生での英語検定(3級以上)取得率

28.1% → 39.0%

2016年度

2022年度

教育力

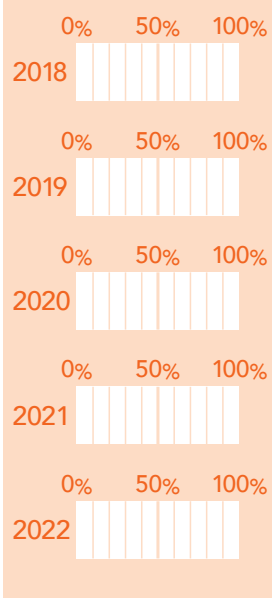
小中学校教員の指導力向上のための
研修などに参加します。

研修参加達成率

72.0% → 74.0%

2016年度

2022年度



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

まちの景気を良くする

市内で生み出される商品やサービスの付加価値の向上を支援します。

さらに、市外からの収入を増やすとともに、地域内への投資を増やすなどの取り組みを行います。

また、三沢で働く方々が、働きやすい環境づくりに取り組みます。



維持

2018

2022

第一次産業や地元企業を守りながら、

施策達成率

地場産品

三沢市の地場産品の市外への販売を支援し、知名度向上や顧客獲得を推進します。

展示会等のイベント出店・支援件数

8件/年 → 8件/年
2016年度 2022年度

観光

観光コンテンツの開発とブラッシュアップを図り、宿泊を伴う体験型などの観光を推進します。

市内観光施設利用者数(延べ数)

1,028,513人/年 → 1,028,513人/年
2016年度 2022年度

商業

三沢市の魅力が発揮される商店(街)の振興に取り組みます。

中心市街地の歩行者数

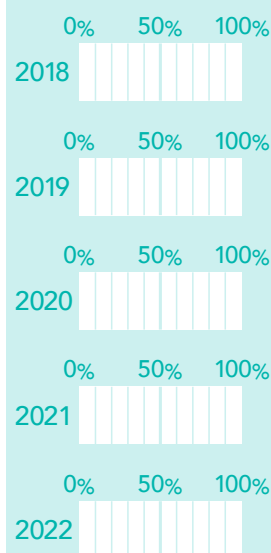
408人/日 → 408人/日
2016年度 2022年度

労働環境

労働環境の改善によって雇用を維持・確保し続けます。

個人・企業向けセミナー参加者数

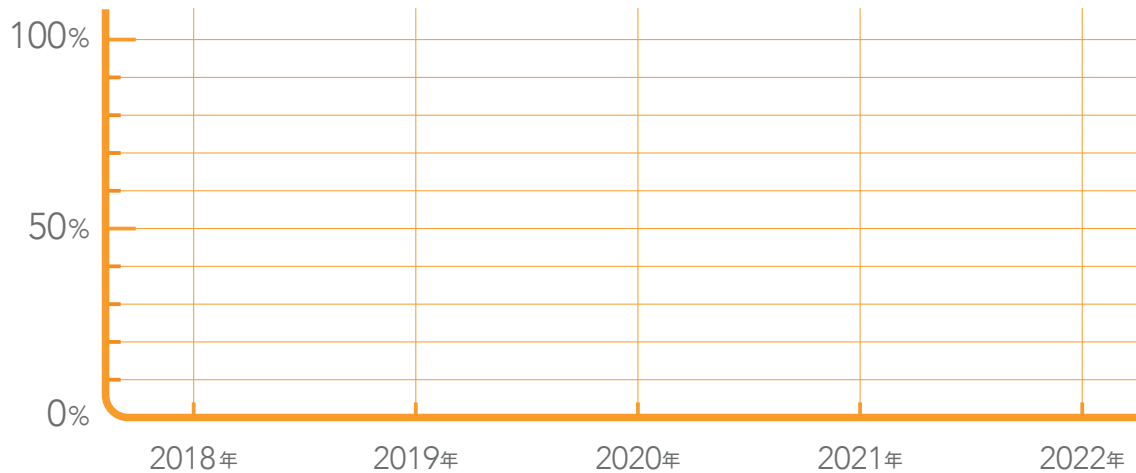
106人/年 → 106人/年
2016年度 2022年度



※数値は毎年度、市のホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。
この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



挑戦

2018

2022

三沢の良さを理解して伝えられる人を増やします。

施策達成率

農業

農地を使いやすいようにまとめることで、効率的な農業経営を支援し続けます。

担い手への農地集積率

49.8%

2016年度

65.0%

2022年度

漁業

三沢市魚市場の高度衛生化を図り、三沢産水産物の品質と魚価の向上を引き続き目指します。

主力魚種の魚価

491円

2016年度

516円

2022年度

※主力魚種：スルメイカ、ほっき貝、ヒラメ

ブランド化

三沢市の農水畜産物のブランド化を推進し、付加価値を高めます。

ブランド化した農水畜産物数

3件

2016年度

5件

2022年度

起業

資金調達や商品開発などを支援し、起業者を育成します。

新規起業件数(延べ数)

5件/年

2016年度

11件/年

2022年度

三沢空港

県外との往来者を増やします。

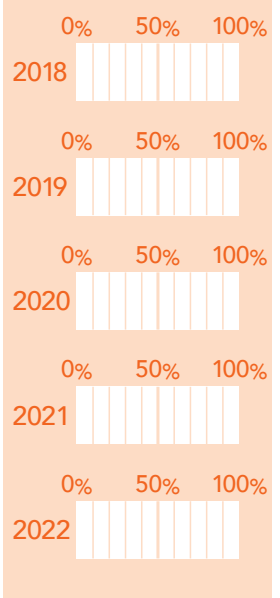
三沢空港発着便の平均搭乗率

69.7%

2016年度

72.8%

2022年度



※数値は毎年度、市のホームページで公表します。

質の高い行政サービスを提供する

三沢市役所で働く職員が個々の能力を伸ばすことで、仕事の質を落とさずに無駄を省くとともに、職員が安心・満足できる職場をつくります。



維持

2018

2022

時代に対応した新しい取り組みを続けながら、

施策達成率

広域連携

これまでの枠にとらわれず、
近隣の市町村との連携を継続していきます。

情報管理

個人情報などの重要な情報が漏洩しないよう
情報を管理し続けます。

定住自立圏で実施した事業数

31件

2016年度



32件

2022年度

情報漏洩件数

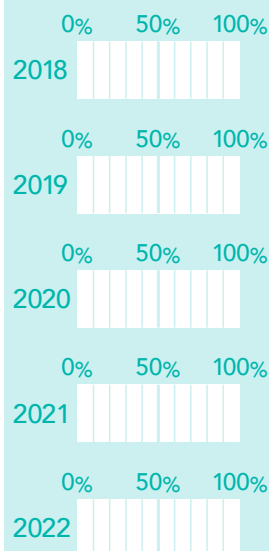
なし

2016年度



なし

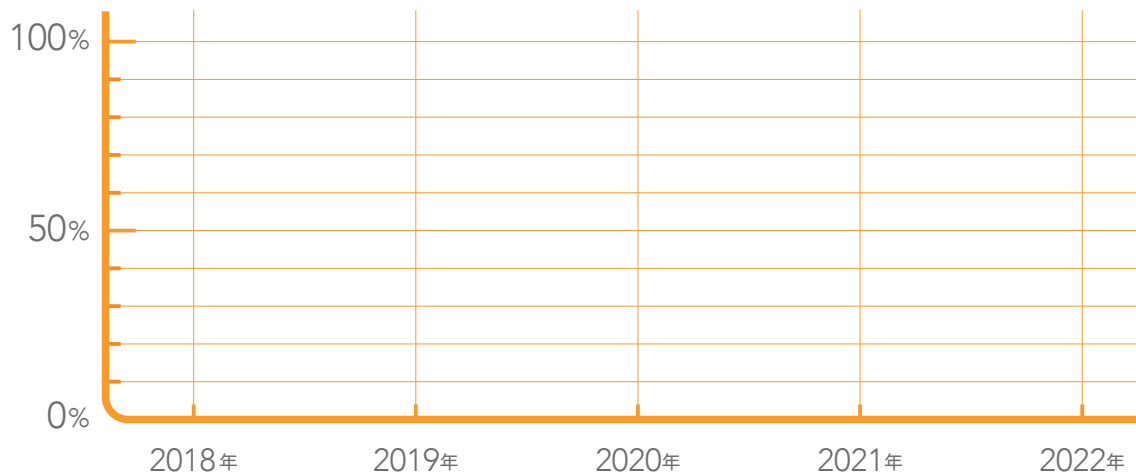
2022年度



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。
この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



挑戦

2018

2022

職員の個々の能力を高めます。

能力開発

研修をととして能力開発を行い、
業務時間を短縮することで効率を高めます。

窓口対応

さまざまなニーズを持つ来庁者のために、
職員の窓口対応力を高めます。

ワーク・ライフ・バランス

市職員が仕事と生活のバランスをとれるような
環境を維持します。

外部機関の研修受講者数(延べ数)

96人/年 → 110人/年
2016年度 2022年度

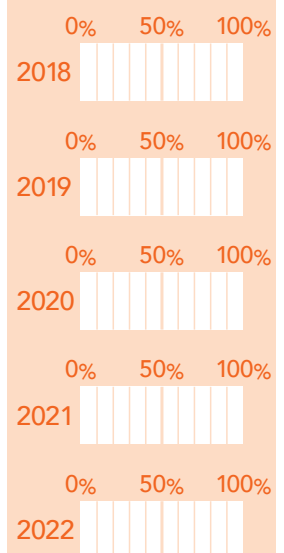
接遇に係る研修受講者数(延べ数)

622人/年 → 730人/年
2016年度 2022年度

時間外勤務時間

13,625時間/年 → 12,000時間/年
2016年度 2022年度

施策達成率



※数値は毎年度、市の
ホームページで公表します。

レーダーチャート

「三沢のいま」が一目でわかります!!
(結果は毎年度、市のホームページで公表します)

01

子どもから
お年寄りまでの
生活を守る

豊かな暮らし

10年先も、その先も日々の
暮らしが豊かになりますように。
学びや仕事をとおして
心も生活も満たされる
まちを目指します。

10

質の高い
行政サービスを提供する

09

まちの景気を
良くする

08

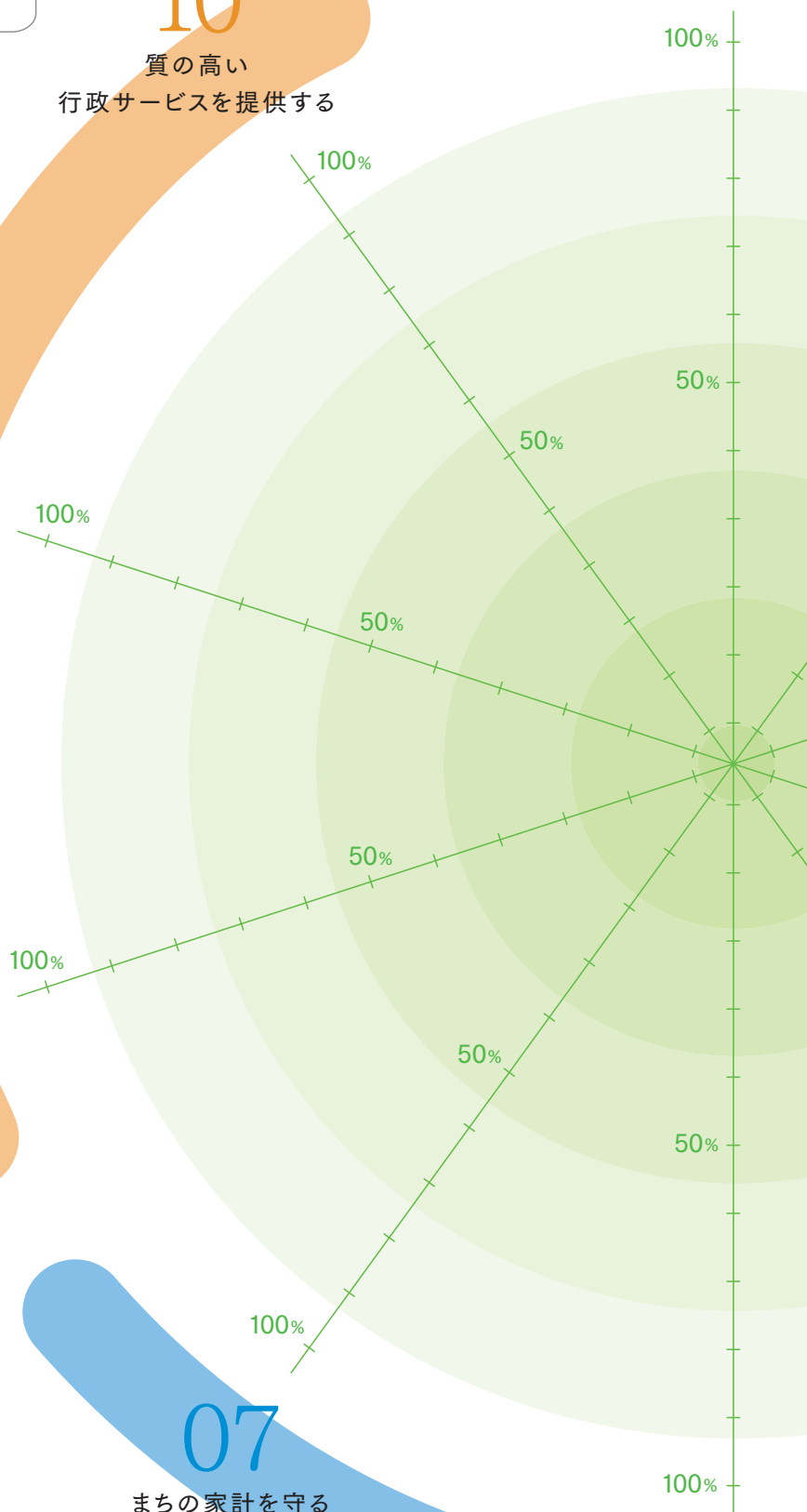
みんなが学べる
まちをつくる

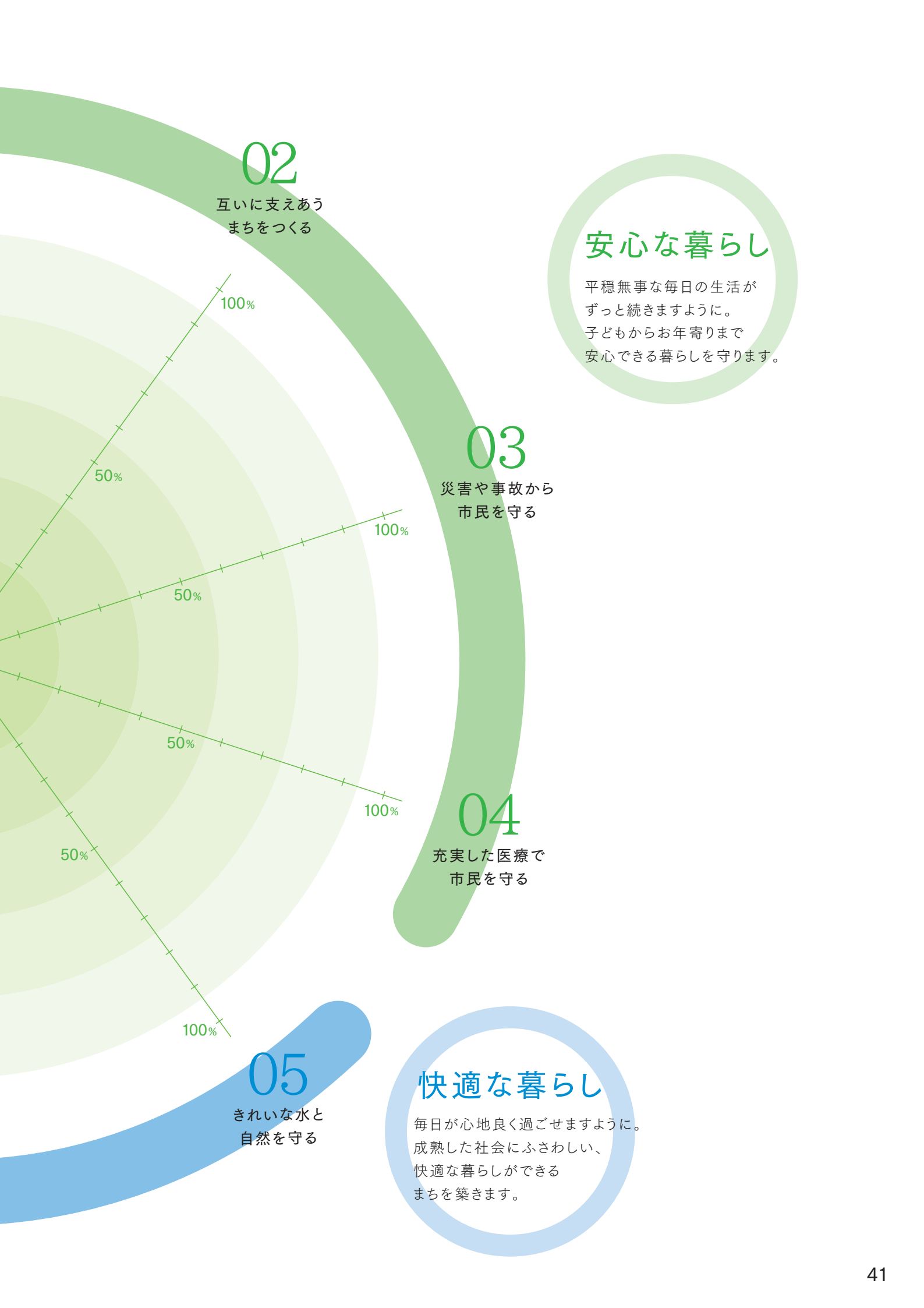
07

まちの家計を守る

06

道路・建物・公園を
使いやすくする





02

互いに支えあう
まちをつくる

安心な暮らし

平穏無事な毎日の生活が
ずっと続きますように。
子どもからお年寄りまで
安心できる暮らしを守ります。

03

災害や事故から
市民を守る

04

充実した医療で
市民を守る

05

きれいな水と
自然を守る

快適な暮らし

毎日が心地良く過ごせますように。
成熟した社会にふさわしい、
快適な暮らしができる
まちを築きます。



策定過程

年月日	会議名等	備 考
平成28年10月～平成28年11月	全職員を対象としたアンケート調査	現行計画及び次期計画に対する意見収集
平成28年10月～平成29年1月	三沢市政策検証ワーキンググループ	現行計画の検証(指標確認、担当課ヒアリング)
平成28年11月～平成29年2月	コンセプト作りのワークショップ(計6回)	次期計画策定に係る基本的な方向性を検討
平成28年12月～平成29年3月	三沢市民意識調査	市民2,000人、市内在学の小学6年生が対象
平成29年2月16日	三沢市行政経営会議	現行計画の政策検証
平成29年3月22日	三沢市総合計画審議会組織会 第1回三沢市総合計画審議会	次期計画策定に向けての概要説明
平成29年4月～平成29年5月	三沢市総合計画策定ワーキンググループ(計3回)	各分野の政策案を検討
平成29年5月15日	三沢市行政経営会議	次期計画基本方針を決定
平成29年5月18日	第2回三沢市総合計画審議会	現行計画の外部検証
平成29年5月～平成29年6月	次期計画策定に係る課長会議(計2回)	次期計画(骨子案)を検討
平成29年7月～平成29年9月	三沢まちづくり座談会(計7回)	小学校区単位で市民ワークショップを開催
平成29年8月24日	第3回三沢市総合計画審議会	現行計画の外部検証 次期計画(案)の審議
平成29年9月22日	第4回三沢市総合計画審議会	次期計画(案)の審議
平成29年10月20日	第5回三沢市総合計画審議会	〃
平成29年11月13日	第6回三沢市総合計画審議会	〃
平成29年12月1日	三沢市行政経営会議	次期計画(素案)を決定
平成29年12月14日	三沢市議会全員説明会	次期計画(素案)の説明
平成29年12月～平成30年1月	パブリックコメント	次期計画(素案)に対する意見収集
平成30年1月25日	三沢市議会全員説明会	次期計画(素案)の説明
平成30年2月2日	第7回三沢市総合計画審議会	次期計画(案)の諮問
平成30年2月7日	第8回三沢市総合計画審議会	次期計画(案)の答申
平成30年2月19日	三沢市行政経営会議	次期計画(案)を決定
平成30年3月	平成30年三沢市議会第1回定例会	次期計画(案)を上程

三沢市総合計画審議会 委員名簿

三沢市総合計画審議会は、総合計画の策定及びその実施に関し必要な事項について調査及び審議するため設置されている市の附属機関です。

(敬称略、平成30年2月6日現在)		
会 長	三沢市商工会 会長	竹 林 秋 雄
副会長	三沢市まちづくりアドバイザー	玉 樹 真一郎
委 員	三沢市小中学校校長会	富 田 隆
委 員	三沢公共職業安定所 所長	佐 藤 正 宏
委 員	三沢警察署 署長	泉 田 信 浩
委 員	おいらせ農業協同組合 代表理事専務	種 市 利 雄
委 員	三沢市漁業協同組合 代表理事組合長	山 崎 文 男
委 員	一般社団法人三沢市観光協会 会長	佐々木 清
委 員	三沢市連合町内会 会長	川 畑 好 弘
委 員	三沢市社会福祉協議会 理事	山 本 富士子
委 員	三沢市連合婦人会 会長	坂 本 幸 子
委 員	公益社団法人三沢青年会議所 外部監事	濱 田 繁 男
委 員	みさわ国際交流協会 会長	月 舘 学
委 員	一般財団法人三沢市体育協会 副会長	福 田 恵美子
委 員	三沢市文化協会 事務局次長	山 上 里 美
委 員	三沢保育事業研究会 理事	黒 沢 のぞみ
委 員	三沢市幼稚園教育研究会 理事	鈴 木 裕 子
委 員	三沢市金融団 株式会社青森銀行 三沢支店長	今 泉 澄 人
委 員	一般公募	馬 場 はるみ
委 員	一般公募	澤 精 一

異動等により退任された委員

委 員	三沢公共職業安定所 所長	相 川 征 昭
委 員	三沢警察署 署長	相 馬 勝 治
委 員	三沢市連合婦人会 副会長	中 野 米 子
委 員	三沢市漁業協同組合 代表理事組合長	福 田 正

※団体名および役職名は委員委嘱時のもの

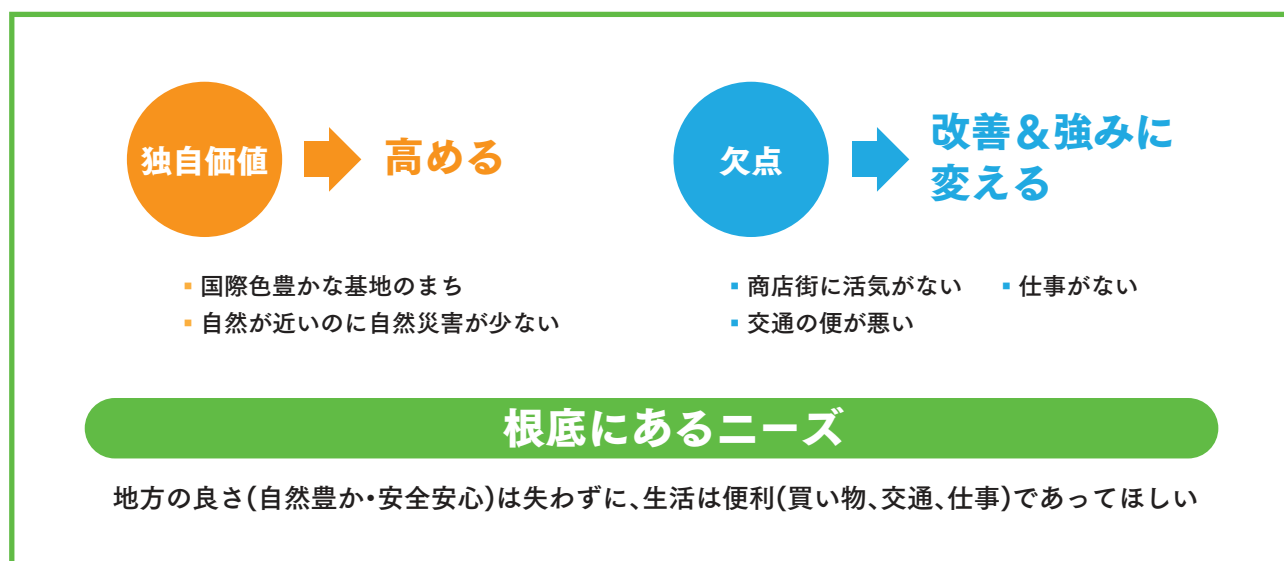
三沢市民意識調査

調査概要

目的	行政サービスに対する市民意識を調査し、これまでの政策の成果と課題を把握するとともに、定住意欲と地域の魅力を明らかにすることで今後の政策づくりに反映させることを目的とする。
対象	18歳以上の市内居住者
対象者数	住民基本台帳から2,000名を無作為抽出
方法	郵送法(サンプル2,000名に質問票と返信用封筒を郵送し返信のあった質問票を集計)
時期	平成28年12月6日～26日
回収結果	回収数980名／配布数2,000名(回収率49%)

市民からみた三沢市の魅力

三沢市民意識調査の結果からみえてきた、市民が感じる三沢市の独自価値や欠点、理想とする姿をまとめました。

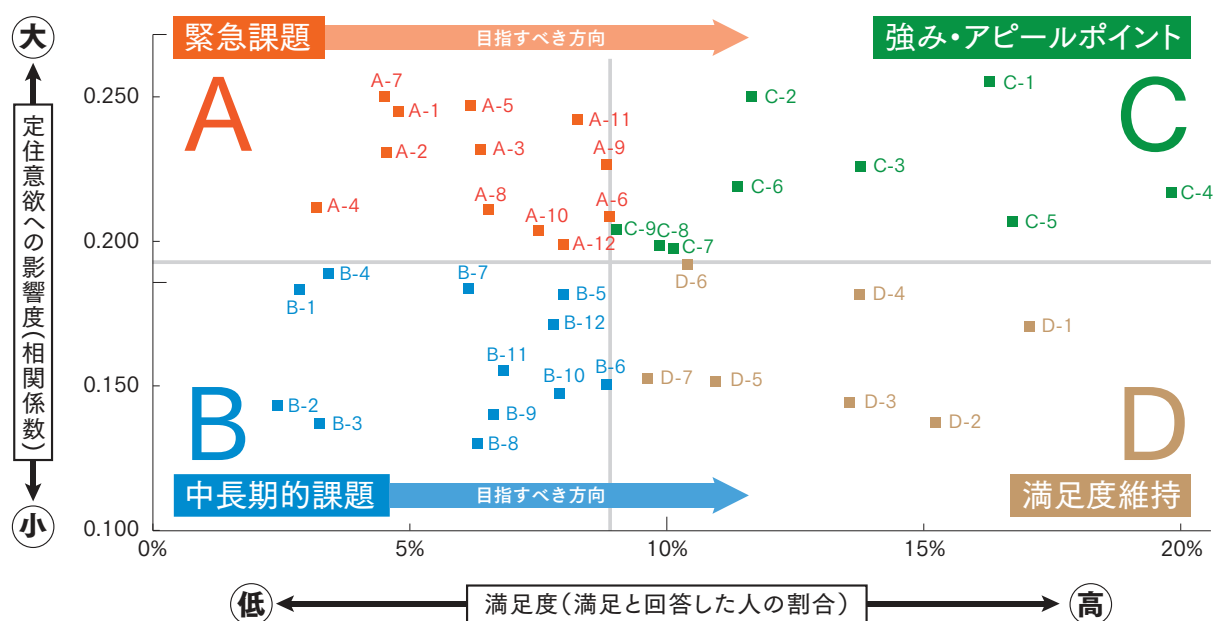


理想とする 三沢市の姿

- 多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち
- 人々(日本人も外国人も)がふれ合うにぎやかな商店街
- 雇用の場があり、若者が定着できるまち

定住意欲と満足度を組み合わせた行政サービスの分類グラフ

横軸を行政サービスの満足度、縦軸を定住意欲への影響度として、**A緊急で改善すべきサービス**、**B中長期的に対応が必要なサービス**、**C強みやアピールポイントとなるサービス**、**D満足度を維持するサービス**の4つの領域に分類しました(上にいくほど定住意欲への影響が強い、右に行くほど満足度が高い)。今後は、分類に応じて施策ごとの取り組みを進める際の参考とします。



A 緊急課題

- A-1 市役所とまちづくり
- A-2 市民視点の行政運営
- A-3 バス利用・運行支援
- A-4 雇用・就業の場確保
- A-5 住宅環境の整備
- A-6 医療体制の整備・充実
- A-7 男女共同参画
- A-8 消費者保護対策
- A-9 交通安全対策
- A-10 子育て支援
- A-11 地域福祉支援
- A-12 生涯学習環境

C 強み・アピールポイント

- C-1 健康診断
- C-2 健康づくり
- C-3 広報・情報発信
- C-4 上水道整備
- C-5 消防・救急体制
- C-6 防災対策
- C-7 教育環境整備
- C-8 防犯対策
- C-9 公害防止・環境保全

B 中長期的課題

- B-1 新産業・企業誘致
- B-2 中心市街地活性化
- B-3 商業の振興
- B-4 観光の振興
- B-5 生活道路整備
- B-6 幹線道路整備
- B-7 地域団体活動支援
- B-8 農業の振興
- B-9 水産業の振興
- B-10 芸術・歴史・文化
- B-11 スポーツの機会
- B-12 障がい者支援

D 満足度維持

- D-1 下水道の整備
- D-2 公園環境の整備
- D-3 国際交流支援
- D-4 ごみ減量・再資源化
- D-5 自然環境の保全
- D-6 高齢者支援
- D-7 基地・騒音対策

三沢まちづくり座談会

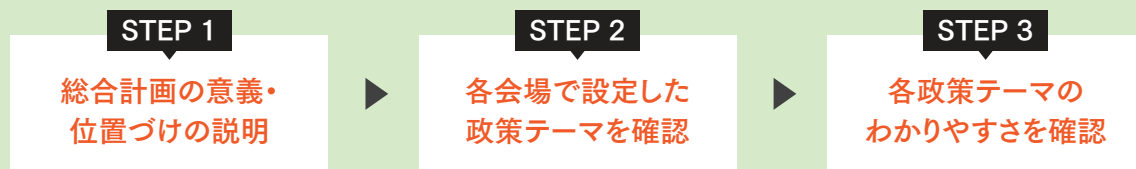
概要

目的	次期総合計画を「みんなで創る」ことを目指し、行政と市民との情報共有とともに、市内各地区の地域課題や住民意見を直接収集することを目的とする。
対象	三沢市民
会場	市内6小学校、1中学校
期間	2017年7月25日～9月4日 ※平日の18時から20時に開催
参加者数	延べ122人(8歳から80歳代まで幅広い年齢層が参加)

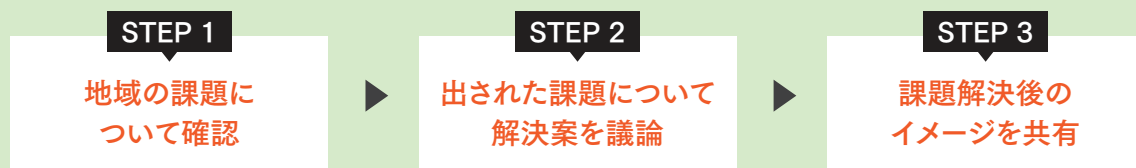
座談会の流れ

次期総合計画に反映する意見や地域課題等を共有するため、各会場において2部構成の座談会を開催しました。

市民にわかる総合計画を作るための意見交換



地域課題・解決案・将来像を共有するための意見交換



三沢 第1回 まちづくり 座談会

in おおぞら小学校

2017年7月25日(火) 参加者19名

地域の課題・解決案・将来像について、
ワークショップでいただいたご意見をご紹介します。

グループ1

家畜の悪臭や飛行機の騒音に困っており、家畜類は移転してほしい。／一次製品の流通のみで、農産物の加工品がほしい。**加工会社をつくって商品化したり、空輸して市場に出す**などしたらよい。／子どもや人口が減り、空き家や一人暮らしが増えることが心配。土地はたくさんあるのだから、おいらせではなく三沢に家を建てたくるようにして、空き家を上手く活用してほしい。／買い物に不便で、歳をとったら車に乗れなくなる。大きな商業を誘致してほしい。／こういった問題が解決されれば、子どもがたくさん増える地域になるはず。



グループ2

町内会に参加しない世帯が増加しており、つながりが薄くなっている。とはいえ、町内会に入ればやらなきゃいけない感があるし、めんどう。**町内会活動の負担を減らしたり、入りたくなるような工夫があるといい(週1回のピザ、そば、BBQなど)**。地域に子供が少なく、地元での就職先もない。婚期を逃して結婚できない人も多い。／仕事については、2〜3人くらいの少人数でも成り立つような企業が生まれてほしい。／結婚については、婚活事業や異業種交流会など、自由な交流会を定期的にやってほしい。／こういった問題が解決されれば、就きたい仕事があるまち、若い人があふれるまちになって、人口4万人を維持できる。アメリカ人も基地外に住んでくれたらにぎわうのに。

グループ3

農業も漁業も高齢化で後継者問題が深刻。湿地帯で田んぼから畑へ転作できないのが一番の問題。小川原湖から水を引く施設も老朽化している。／若者が農業に魅力を感じられない。お嫁さんも来ない。結婚しない若者が増えた。／1人暮らしのお年寄りが多い。／学校の生徒が少ないので部活がな

りたない(チームが作れない)。小学校の統廃合でスクールバスになり、登下校する子どもの姿を見なくなった。子どもがいっぱいいれば地域が明るくなるのに。／バスが少なく出かけられない。商店街に買



い物にも行けない。1日4本、しかも登下校の時間しか走っていない。市街地へ行くのにバス代が1,000円以上かかる。循環バスだといのに。市街地に行行って買い物した後病院へ寄って帰ってこられる。／養豚の糞尿による悪臭に困っている。臭いと地域のイメージが悪くなる。悪臭をなくして道の駅を整備し、道の駅に人が集まるようにしてほしい。

ソバ畑や菜の花もPRできる。人を呼びやすくなれば、観光振興につながる。／こういった問題が解決されれば、農業のブランド化が進み農家は儲

かる。結果、税収が増えて色々な行政サービスができるようになる。／お年寄りが近場で買い物できる、1人暮らしでも出かけられる、安心して暮らせる地域になってほしい。

グループ4

市民の森や周りの広い土地、記念館等、もっとPRしてほしい。**市民の森の温泉は市外からも沢山の人来てもらえてうれしい**。／道の駅が不便で品数が少ない。牧場もあって環境抜群なのでもっと利用してもらえれば活性化するのに。／南山地区だけでなく北部方面にも何か作ってほしい。小川原湖に遊園地があればいいのに。／国際文化都市として、**今よりも国際交流**できる機会



をつくる。市外の人にも楽しめるような。／駅から中心街への道を魅力的なものにして、観光客が中心街へスムーズに移動できるようにする。／こういった問題が解決できれば、観光でにぎわう三沢になっているはず。**観光客とアメリカ人が交流できる、国際交流を生でできる唯一の地域**になれる。国際的な会議やスポーツ大会も開催されている三沢市へ。／バスの便が悪く本数も少ない。ダイヤと本数をあと1本ずつ増やしてほしい。買物できる場所が近くにない。将来買い物に行けなくなったらどうしよう。買物用のバスが走ってくればよいのに。／思いのほか飛行機の騒音がうるさい。天気が悪い時は悪臭がする。ゴミ捨てのマナーが悪く、車からポイ捨てされた空き缶が道路に落ちている。／畑からの大量のドロが道路にある。雨が降ると冠水している所があり運転しづらい。避難道路の充実。／自分の健康に不安で(目や足腰)、将来どうなるのか不安。／町内会へ加入する人が少なく組織も高齢化して担い手がない。町内会の集まりはいつも同じメンバー。若い世代が地域の活動に関心を持って積極的に参加し、楽しめるまちになってほしい。／学校を卒業しても地元で働く場所があってほしい。そうすれば人口が減らない。**大規模農家**

で働く農業従事者が増え、自衛官と合コンして結婚する人が増えればよい。／お互いに声をかけ合い、手を差し助けてくれるまちになってほしい。昔と今では状況が違ってきているので、現在に合った形にかえていくことが大事。



三沢 第2回 まちづくり座談会

in 上久保小学校

2017年7月26日(水) 参加者19名

地域の課題・解決案・将来像について、
ワークショップでいただいたご意見をご紹介します。

グループ1

町内会員の加入不足。人数が少なくなって色々な活動ができない。子ども会も減っている。／**もっと挨拶したい**、声かけしたいけどなかなかできない。／町内会、少なくとも一家屋の世帯の人たちがしっかりつながっていく努力をする。／中央町に大きなコミュニケーションセンターを作り、みんなが集まれる場所にしてほしい。みんなが集まって楽しく話したい。／1人暮らし老人のサポートを継続的に相談できる組織がほしい。／終活を指導・サポートしてくれるNPO組織がほしい(介護・認知症～施設入所～葬式・お墓までの一連)。そうすることで、安心して老後を送れる。老後の心配のない生活。自分の老後を見つめ返すことにより「明るい明日」に気づくことができる。／道の幅が狭すぎる。車のすれ違いに困る。以前、道幅を広げる話を聞いたので今後どうなるのか教えてほしい。／新しいスポーツジムが遠すぎる。／住みやすいまち、老人一人でも暮らしやすいまち。コミュニケーションあふれた国際色豊かなまちへ。

グループ2

イベントや祭りが多く、寄付金の負担がたいへん。補助金に依存した企画はやめるべき。**イベントをや**

りたい有志がクラウドファンディングで資金を集めてはどうか。イベントや祭りは続けるより減らしてはどうか。何をするかよりも何をやめるのかを考えるのが大事。／町内会加入率が減り、行政による町内会への負担が重い。アパートの居住者も町内会費を収めるようにしてほしい。／防災対策(避難所運営など)には地域とのかかわりが必要。／SNSで情報が得られるなど町内会加入のメリットがほしい。新しいコミュニティのあり方が求められる。緩い助け合い、支え合いの方が良い。／市の施設は市民が使いやすい、人が集まる使い方をしてほしい。学校の隣にあって子どもたちが宿題をしている十和田市の公民館が良い例。／体育館は市民の運動サークルが使いやすいように。／市のプールが遠すぎる。／主要施設をつくる場合、市民による建設委員会を設置し運営方法まで含めて市民と共同で進める。市民が主体的に運営する。／県外から来た人を案内する際に連れていきたい三沢らしい店がない。結局八戸に行ってしまう。／地元の店は早く閉まるし休みが不定期。カフェが少ない(図書館につくてもいいのでは)。／道の駅が遠すぎる。／教育(特に大学)にお金がかかるから子どもが減る。教育費の負担を減らしてほしい。／教育費を心配せずに子育てできれば子どもが

増え、税収が上がる。市の財政がうるおって色々な政策を実現できる。／三沢のまちをどうコンパクトに作っていくのがベストか。／道路の除雪や一人暮らしの老人の生活をどう支えるかが心配。／**空き家を壊して有効活用できないか? 空き家対策にもなる。**／福祉など相談窓口が利用しにくい。／総合社会福祉センターは日曜日に利用したいのに開いていない。／生活保護費は物品、現物で給付してほしい。／縦割り行政、防衛予算からの脱却を望む。／土地区分を見直してほしい。三沢にこだわりすぎず、隣町との連携をもっと進めてほしい。

グループ3

若者が働く場所がない。若い人の仕事(市役所以外にいいところはないのか)。／通学路が長くて狭いところが多い。信号がない。車道と分けてほしい。／子どもが安心して遊べるような場所がない。子供が少なく同世代の友達が周りにいない。／子ども会がない。まち(地域)全体での「子ども会」をつくってはどうか。／老人が集まれるところがたくさんあればいいのに。／中央通りのゴミ箱をきれいにしてほしい。他の町内からのゴミ捨て、犬のフンなど。ルールを守るよう指導、アドバイスする。／個人情報厳



しく一人世帯の実態が分からず困っている。／将来の年金の不安(今の現役世代が受け取るようになったとき)／地域の生活ベースに合わせる考え方をしているから、特に困っていることはない。／三沢市民のコミュニティ意識が高まって色とりどりの交流が市になる。／三沢市に**いい仕事があれば、孫と一緒に暮らしたい**。将来の基盤が分かれば、今の生活も楽しくなるはず。幸福であることを実感できるまちになってほしい。

グループ4

子育て世代への取り組みが必要。／生活困窮者(特にひとり親)への支援。／街中に人が出ていくために浜との格差が生じている。休校になってい

るところを利用できないか。／通学路が危ないので親が車で送り迎えをしている。学校内に駐車場を整備するか、全員スクールバスにする。／**男性も子育て**をする。／個人の能力を活かしてやりがいを感じられる雇用の場がほしい。／町内会の高齢化。町内会に加入しない人が多くなっている(特に浜の方)。町内会の役員は男性が多い。／災害が頻発しているので**自主防災を立ち上げ、減災について考えている。**／町内会をなくして地域の自主防災組織にするか、再編成する。自主防災組織を完備するとより住みやすいまちになる。若い人が活動しやすい場、コミュニティをつくる。／健康に対する不安の緩和。医師の講演の場をもっと設けて不安の解消につなげる。／色々な保健事業で参加してもらいたい年代の参加が少ない。／世代を超えて交流できるまち。協働のまちづくりを実現できる。助け合いの地域になって若い世代の加入につながる。／三世代、親子でも住める三沢市へ。親を呼び寄せ居住人口増。町内に子どもが増えてお年寄りとも交流できる。地域での犯罪も減るのでは。／何事も行動を起こす。それに対して協力してくれる人ができたら嬉しい。

グループ5

お年寄りが多く、若い人が少ない。子どもが少ない(お祭りの参加が少なくなった)。／お祭りのときは午後帰ってもよいなど、学校も協力してほしい。／仕事・雇用が増えてほしい。／子どもを連れて遊びに行けるところがない。航空科学館が遠い。／児童館が日中やっていないので、育児サークルをみつめて入った。もっと気軽に遊べる場所がほしい。／互いに子どもの面倒を見れる施設や、お年寄り子どもと一緒に遊べる場があると嬉しい。／近所に(いい意味で)おっかないおじいちゃん、おばあちゃんがいる地域に。／商店街を明るい通りにしてほしい。古い、暗い。シャッターが下りてるなら、せめて見た目を綺麗にしてほしい。／(スーパーは子どもだけで行ったらダメなので)**駄菓子屋さんなど子どもが安心して入れるお店を増やしてほしい。**沼田商店みたいなお店が増えるといいな。／古間木川流域に街灯をつけてほしい。／お祭りにこにこプラザ訪問など色んな施設や行事を通して誰とでもつながる三沢になる。／立ち話をする相手がたくさんいるまち。／子どもからお年寄りまでみんなが不便なく暮らせる三沢へ。／残りたくなるようなまちになる。ずっと住み続けたい、離れたくないまち。来て!と言いたくなるまちになれる。

三沢 まちづくり 座談会

第3回

2017年8月1日(火)

参加者20名

地域の課題・解決案・将来像について、
ワークショップでいただいたご意見を
ご紹介します。

in 第一中学校



グループ1

地域に若い人や小さい子どもが少ない、というかい
ない! 若者が多く住むまちになってほしい。三沢に
家を建てやすい、住みたいまちに。/アパートに住
む人たちとの接点が少ない。/地域に若者がいな
いわけではなく、町内会で活動していない。いかに
若い人を取り込むか。/道路が狭く、事故が多発し
ている。道路を拡張し信号機を設置してほしい。/
車を使わなくても、どこにでも行けるまちになってほ
しい。/巡回バスの工夫がある、乗り合いタクシー
のあるまちに。/空き家、空き地が多く防犯面で心
配。持ち主と行政との接点があればきれいになるは
ず/ **空き家をリフォームして若者に安く貸し
てくれる仕組みがあれば**良い。/年をとってか

らの今後の健康が不安。**街中にウォーキングの
楽しいコースや、町内会で趣味を楽しむ場**
を作ったらどうか。/問題が解決されたら、住みや
すく、老後も楽しく暮らせるまちになっているはず!
文化・スポーツに親しみやすいまち。年をとっても動
きやすさが守られているまちに。

グループ2

タバコのポイ捨てや、勝手に入ってきて荒らす猫の
フンに困っている。/狭い道路の交通量が以上に
多い。交通規制を設けて安全な道路に。/夜中の
訓練をやめてほしい。騒音区域の拡大はできるの
か。ルールを守り市街地での飛行訓練はしない。/
騒音はあるがそのおかげで三沢市がうるおってい
る。基地の撤去はできないが、防音地域を増やして
安心な生活環境をつくる。/街灯がない所は歩い
ている人がこわい思いをする。灯りが消えている所
の対応が遅く、メールや手紙でも伝えられるとい
いの。/空き地の草やゴミが気になる。遊休地の指
導が必要。/町内会に加入しない、活動に参加し
ない人が多い(貸家、アパートの入居者等)。/最
近、個人情報が厳しすぎて一人暮らし世帯の状況
が分からない。/若い人が少ない。人口を増やす

対策が必要。若者の雇用の場を増やす。企業の誘
致を望むがその手段があるのか。三沢に一流企業
が来てほしい。/TVなどの取材が来て有名なまち
になってほしい。/十和田のようなアート感のある
芸術的なまちにしてはどうか。**十和田、七戸、三
沢をアートなまちにすることで県外からの
観光客も増える。**/こういった問題が解決され
れば、働く場所も人口も増えて活気のあるまちにな
るはず。/子育て支援と一人暮らし高齢者の見守
りが必要。二世帯同居家族や働き場所が増えてほ
しい。/人口減少が目の前に迫っている。今後の
市の財政、借金が心配。箱モノは借金を増やすだ
け。/町内会加入者の減少。町内会やサークルが
高齢化している。どう若返りをはかるか。全員が町
内会に加入して、活発な町内会に。全員に会費を
払ってほしい。/子ども不足による子供会の廃止
が問題。/集会施設を簡単に使えるようにして、住
民の交流の場にしては。近所づきあいができるまち
に。/単身世帯が町内会に入らない。/おひとりさ
まが多くなった。結婚して家庭を持てる給与水準に
ない。/住宅地はそれなりにきれいだが、空き地周
りが草ボーボーで汚い。/明け方、カラスがゴミ置
き場をいっせいに散らかして困っている。ゴミのな

い、美しい、衛生的な三沢市になってほしい。/区
画整理をしてこなかった地域を再計画してすっきり
させてほしい。/人口を増やすために大きな工場
を誘致する。/ **天候・やませに左右されない
農業生産できる工場を建設**する。/交通の
便が良くなってほしい(道路+鉄道)/子どもがい
る明るくにぎやかな三沢市になっているはず。子
どもから大人までが交流し、家庭・学校・地域が明る
く楽しくなる。

グループ3

一方通行の商店街が寂しい。イベント時は人がたく
さんいるが、普段はさっぱり…。/小川原湖を活用
して自然アクティビティ、スタンプラリー等、連携・継
続して利用できる仕組みが必要。/スカイプラザを
本来の趣旨に沿った文化的施設に戻す。/青森屋
と三沢市がタイアップ。歌手等で観光へ誘導する仕
組みをつくれぬか。/町内会へ入る人が少ない。
町内会の活性化が必要。町内会へ積極的に加入
し活動に参加してほしい。/みんなが興味のあるよ
うなことで町内会のことを知る機会を増やす。**町内
会で定期的に講演会があったら良い(振り
込め詐欺、防災+α)**。/空き家対策が必要。

民生委員など別の組織が空き家調査をする。/町
内会と不動産が組んで、リフォーム、宣伝広告をし
てもらう。/カラスによるゴミ問題に困っている。各
町内会、ゴミ置き場に鉄カゴを用意する。/無駄な
施設にお金を使っている(野球場等)。/まちづくり
をコンパクトにして色々な施設に歩いて行けるよ
うにする。/市内の温泉の料金を150円くらいにし
て、**温泉に地域住民が集まって交流**できるよ
うにしたらどうか。/大学を誘致し、学生のまちにす
る。ネイティブな英語を身に付けられるまちにし
ては。/多くの観光客が町中を闊歩できる魅力あるま
ちになれるはず。地域住民もみんな顔見知り、みん
な友達。人が増える、集まる三沢になる。

グループ4

騒音で眠れない時がある。移転跡地を有効活用し
てほしい(防衛局とのタイアップ)。/飛行機のまち
なのだから航空産業の誘致を。/車が運転できな
くなる高齢者の足の便は将来どうなるのか? /バス
停の位置やルートが分からない。時刻表も分かりに
くい。/みーばすをもっと利用するために、どこを
走っているか自分の目で確かめる。/広報みさわ
に「バスに乗ってみました」企画をしてはどうか。バ

スの利用者が増えて廃止路線になるのを防げるは
ず。/町内会が成立しないところが増えてくるの
で、コミュニティーの再構築を考えるべき。/小さい
グループの集まりを作る。寺子屋、キラキラ、いき
いきクラブをもっと周知する。/まちおこしに興味
があるが、どこでやっているのかどう入ったらよいの
か分からない。/伝統工芸の集約施設がほしい。**工
芸でまちおこし**。工芸が栄えるし高齢者の生き
がいても増える。/おいらせへの人口流出。/人口の
減少を食い止めるため、若者の雇用の場をつくる。
/住宅地のため、市近郊の農地の解放を。/専門
学校、大学など学校を誘致すれば学生が集まり、経
済的な潤いが生まれる。/企業や若者が活躍でき
る場を作る(車でのオープン映画館、ライブ会場、イ
ベント会場など)。/市のどこに何があるかを分かっ
ていて、いろんな場所に自由に行けるようになりた
い。三沢にどんな便利な場所があるのか分かって
いれば市外の人にも教えたり案内して、三沢に来て
もらえるようになる。/病気になった時にすぐに治し
てほしい。病院が増えれば、病気がすぐ治って人口
が減るのを少しは防げるはず。/若い人が働く場
のある活気あるまちになれるはず。/高齢になっても
外出できて、市民の交流が盛んなまちに。

in 岡三沢小学校

三沢まちづくり座談会 第4回

2017年8月4日(金) 参加者25名

地域の課題・解決案・将来像について、
ワークショップでいただいたご意見をご紹介します。

グループ1

町内会に加入する人が少なく(特にアパート)、参加する人が増えてほしい。／町内会、老人クラブともに増員対策は頭が痛い。具体的にどうしたらいいか話し合う機会がほしい。／道に空き缶やペットボトルを勝手に捨てている人がある。／グリーン作戦に参加しない方々をどうすればいいか。みんなでグリーン作戦をして空き缶を捨てる人をなくしたい。／ゴミを出すのは自分の町内に。／祭りに参加する子どもが年々減っており、若い人が少ないため面白い行事があまりない。／高齢者が生きがいを持てる場所が必要。趣味の発表の場があればよいと思う。／いつまでも車を運転できないから不安。この先運転ができなくなり買い物難民になった時の対策を考えている。ネットショッピングは難しく、お出かけタクシー等があれば便利。／飛行機の音に困っている。夜は静かに安眠したい。／図書館前の旧自衛隊官舎の処理を早くしてほしい。目立つ場所なのでみっともない。／商店街の一方通行を解除して人通りを多くしたい。／この座談会に参加する人(特に若者)が増えれば、みんなで考えたことを実際にできるはず。／病院を整備して安心して暮らせる三沢になってほしい。／公衆トイレはたいいてい洋式が一つの

で、外ではほとんど和式。全部様式なら楽なのに。
／公会堂のトイレがきれいに改装されたのがよい。／まちがきれいになって若者やたくさんの人が来てくれる三沢になれるはず。高齢者が笑って暮らせる、一人暮らしでも安心して暮らせる三沢市。町内会などふれあいの場を活用して、お年寄りも若者も仲良く暮らしている三沢市へ。

グループ2

町内会長を次にやってくれる人がいない。町内会に関心がない。会員も集まりが少ない。町内会員同士のコミュニケーション不足。／稲荷神社に参加する人が少なくなった。／子ども会がなくなった。あっても部活動で来られない。／ラジオ体操がない。子ども、中間層、高齢者の参加を増やしたい。／道路が狭くなって歩きづらい(冬は雪、夏は木の枝や道端の草)。手押し車の高齢者にでこぼこ道はきつい。／道路の草刈りに困っている。／松園町で歩道が斜めになっているところがある。／除雪、草刈りに力を入れてほしい。／高齢者でも歩きやすい道路になってほしい。／病院に行くのに時間がかかる。100円バスは不便なので歩かざるをえない。／バスの乗り場を分かりやすくしてほしい。／若者が遊ぶ

場が少ない。ハロウィンやお祭りなど楽しい行事がもっとあれば三沢を好きになるはず。／ネットのみのゴミ集荷所に困っている。カラスがきて危ない。／きれいな住みやすい三沢になれるはず。住民が集まれる場のある、みんなが道端で会話している三沢。年をとっても楽しくいられる三沢に!

グループ3

シャッター商店街、一方通行をどうにかしてほしい。途中まできれいになっている様子を失敗した感が…。これでは人が集まらない、呼べない。／道が狭すぎて車の行き来がこわい。ゲート前の先も商店が並んでほしい。／有名なフランチャイズのお店を呼ぶ。／日本人とアメリカ人の子どもが遊べるプレスクールのような場所(児童館)を作って、英語を話すのがこわくない子どもに。／子どももお年寄りも集まれるようなコミュニティセンターを商店街に作る。／みんなが楽しめるような行事、活動があると嬉しい。／町内会が高齢化していて、若い人が参加しない。(しにくい?)／老人の一人世帯が多く、倒れていても発見できず家事などが心配。／市からのスピーカーによる連絡が何を言っ



ているのか聞き取れない。／マックテレビ放送は何時から何をやるのかが分からない。／有名なバンドや有名人を定期的に呼んだり、マーケティングに力を入れると若い人が来てもらえる。／パサージュみたいなお洒落な雰囲気に。観光リピーターも増える。／学校の周りが少し暗いのでは(街灯)。街に統一感を持たせた方がよい。／人が人を呼んでにぎやかな三沢になれるはず。市内にお金も落ちる。
三沢の子どもの半数をバイリンガルに。／グローバルに育った人材がやがて地元に戻ってきて子育てするようになるはず。

グループ4

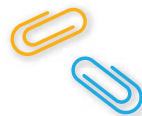
このままでは町内の若い人はおいらせや六戸に家

を建ててしまう。市外の人が住みたくなる住宅政策が必要。／人口を減らさず、外から三沢に人が流入してきて人口が増えてほしい。／高齢者が多いので、歩道に時々休めるようなベンチがほしい。／男性も女性も集まって交流できる東屋があればいい。／公園に健康運動器具(特に男性用)の充実を。男女問わずコミュニティができて開放的な集会所になれる。／高齢者が外に出たくなくて、毎日元気に挨拶を交わし近所の人と交流を楽しむことができる。／高齢化で公園の草刈りがたいへん。自宅周辺の側溝も草ボーボーでどうしようもなく塩水をかけている。／外で草刈りをする虫にまけて病院に行くことも。毛虫が駆除されたら外に出る機会も多くなるのに。健康的な老人が多い三沢市になれる。／こういった市民から意見を聞き取り組みは素晴らしいが、もう少しじっくり考える時間もほしい。／高齢者が健康的な、いきいきとした三沢になれるはず。健康で自立した生活をしながら長生きして、仕事や若い人々への貢献もできるようになる。

グループ5

住民の平均年齢が県内で一番若いわりに健康保険料が高い。／高齢者の行動範囲を広げる必要が

ある。／高齢者にラジオ体操をすすめてはどうか。／地域の人の交流が少ない。／イベントはあっても相互のコミュニケーションが少ない。／町内会が成立しないのに今後どうするのか。／公園で雨が降ったときに隠れる場所がなくて困っている。公園に集会所か東屋を作ってほしい。／空いている公舎などを集会所施設にしてほしい。高齢者が集まれる機会や場が増えると嬉しい。／町内会から、コミュニティ三沢への変革を。／安全のために防空壕が必要。コンパクトシティにする。／コミュニティが豊かな三沢になれるはず。アメリカ人ともっと交流して国際都市三沢へ。税収や補助金があるので、どのような発展でも可能なまちになれるはず。100年後には、コミュニティの国際化が進む三沢市に。



三沢 第5回 まちづくり 座談会

in 三川目小学校

2017年8月8日(火) 参加者11名

地域の課題・解決案・将来像について、
ワークショップでいただいたご意見をご紹介します。



グループ1

個人商店が減って、地域の人々の交流がなくなった。使えるお店が少ない。／道路の拡張が中途半端で、全部やってほしい。／大手やチェーン店が増えて街が平均化。単に便利になるだけではなく、まちの特色を考える必要がある。／街のにぎわいをつくるにあたり、市民に方向性を示してほしい。／地域自身で考えられるようにならないといけない。／駐車場を作ってほしい。／お金に余裕のあるお年寄りが、商店街でお金を使えるといいのに。／何かやりたい人や若者が商店街を使える仕組みがほしい。／商店街を全て買って新規事業者に開発を任せてはどうか。／都市計画や商店街活性はもっとオープンに。／商店街という概念を改めては

どうか。／住宅街の空き家をもったいない。／商店街の空き家・空き地も活用してほしい(寂しい)が、持ち主は困っていない。／空いている農地の交換にも税金がかかる。／誰が不動産を所有しているのかも分からない。／若者が働く場が必要。就職だけではなく起業という方法もあることを幼い時から教えたい。／三沢らしい特色ある大学を作てはどうか。英語教育を充実させる。／地域を良くするための人づくりをしたい。小・中学生から地域を良くしていく取り組み。／広域連携で観光を強くする(八戸、十和田、三沢)。／難しいイベントでなくても、いつでも開いていて誰でも来られる環境をつくる。／山・海・湖があるメリットを活かす。／写真で三沢の魅力をPRしたい。／三沢の特産品をもっと



地元の人が使って口コミで広めてはどうか。／コミュニティ豊かなにぎわいのあるまちになれるはず。他の真似ではなく、住民が感じている価値に観光客が惹きつけられる三沢に。その結果、米軍基地や原発に頼らない自立した三沢を実現できるはず。

グループ2

国道には歩道がないか(あっても狭い)、昔からの段差があって高齢者が歩きにくい。押し車や車いすを押さなくて困っているのに歩道を整備する計画すらない。／国道は市の管轄ではないが窓口になってほしい。お年寄りに優しい歩道に。／お年寄りの買い物難民が心配。／病院に行くのにバスで40分以上かかる。／四川目と五川目の間を飛行機が飛ぶので鹿中町内の騒音がうるさい。移転や防音工事など騒音対策をしてほしい。／基地がない、飛行機がないのが一番だがそれは無理なので共存共栄しながら騒音対策をする。／三沢は建物ばかり立派。国際交流センターはちゃんと活用されておらずもったいない。利用制限も多い。公共施設は稼働率を公開して見える化してはどうか。／土曜日でも書類を受け取れるなど、業務時間を延長して利便性を高めてほしい。／窓口の対応は良くなって

きている。／補助金等の情報が不十分で分からないので、情報発信してほしい。／町内会に若者が参加せずお年寄りしかいない。／町内会の活動が



負担になっている。その結果、地域でのつながりも意識も薄くなっている。／老人がいきいきと暮らせるコミュニティや、人が集まるしくみが必要。いつも同じメンバーで仲良くすぎると新しい人が入って来られない。／そもそも若者が定着しないのは、職の選択肢が狭いから。企業の誘致が無理なら起業という方法もある。／どこに行ってもマイナンバーが必要で管理がめんどろ。漏洩も心配。／お年寄りが健康で安全に暮らせる三沢になれるはず。若者の働く場があり、子どもが増えていきいきと暮らせる三沢へ。グローバルな寄り合いなど国際都市と

しても発展する三沢。そのためにまず最初に必要なのは、地域のつながりと住民の意識。

グループ3

移動手段がなくバスの便が少ないので、老後が心配。／みーばすは天津で終わり。バスが頻繁に通るようになってほしい。／娘、息子に迎えに来てもらえると嬉しい。／ずっと前から歩道が狭く、子どもたちが危険。集団登校も1列が精一杯。／人口減少や過疎化が心配だが、働く場所が少ない。／農家を引退した人が使わなくなった土地を貸せばいいのに。／新しい産業をつくり、働く場所のある三沢になると嬉しい。／三沢市の特色を活かしたPRができればいいのに。寺山修司をもっと活かすなど。／お年寄りに優しく、若い人たちが働きたくある仕事がある三沢になれるはず。外から三沢へみんなが行きたくある三沢になる。



三沢 まちづくり座談会

第6回

in 古間木小学校

2017年8月22日(火)

参加者18名

地域の課題・解決案・将来像について、
ワークショップでいただいた
ご意見をご紹介します。

グループ1

高齢化により活動が負担になり、若い人が町内会に入らない。／町内会は任意団体なので入会を強制できない。／任意団体なのに市からの要望が負担になっている。／次期リーダーがおらず、これから町内会を維持していくのが困難。町内会がなくても



やっていけるような組織が必要なのではないか。／空き家の活用で住民が楽しめることをしたらどうか。／集会場もいなくなる。／地域の活動に積極的に参加できるまちになってほしい。／どんな人とも話し合える、あちこちで立ち話ができるオープンなまちに。／高齢者の一人暮らしが多い。／遠方の人には買い物が大変で、駅より西側はスーパーもなく老人は困っている。／ITを活用して一人暮らし

のお年寄りにナースコールのようなものをつけてはどうか。／JRの券売機が三沢駅になくて不便。／十鉄の駅そばを残してレトロ感を演出しては。／若い人が働ける職場を作って定住してもらい、人口を増やしてほしい。／おいらせ町のように家を建てやすかったり会社があると若い人が住みやすい。／景観を整備して景色のすばらしい場所をPRし、観光客を増やす。／三沢駅に大型スクリーンを設置してイベント案内やビデオを流してはどうか。／ゴミ出しのルールが守られていない。／車のスピードが速くてこわい。／林が多いのだがちょっと物騒。／急病患者は八戸に搬送されるので家族が大変。／現状は維持しつつも人が集まる三沢になれるはず。若い定住人口と観光客でにぎわう三沢へ。三沢市だけで全て解決できないから、広域化で連携して協力できるまちに。

グループ2

個人病院が少ない。／将来お墓をどこに建てるか心配。／介護センターに利用しやすい金額でいつでもお願いできる制度がほしい。／独居老人、介護、痴呆、お墓までまとめて相談できる場所が必要。／コミュニケーションツールがあると安心。

／お祭りに参加する人が少なく、いつも同じメンバー。／集会場が2階にあるので、高齢者がたいへん。上り下りできない人は参加できない。／雪かきボランティアが必要。／町内会がもっと活発になってほしい。／子どもの通学路の整備をしてほしい。／道路の街灯が少ない。／三沢駅の駐車場は無料だといのに。／住民全員が古間木川をきれいにする活動に参加してほしい。／町内生まれの子どもが大きくなって家を建てるのは、おいらせか六戸。／地域おこしに空港を活用してはどうか。三沢空港から海外旅行に行けるとか、アメリカ村に免税店を作っては。／ゴミ出しのルールが守られていない。／ゴミ収集の時間が早すぎる。／市の温泉が遠い。市の温泉は高齢者の送迎や入浴料を下げて地域住民の交流の場にしてはどうか。／年をとっても安心して暮らせる三沢になれるはず。コミュニケーション豊かな三沢市へ。

グループ3

若い人の町内会への参加が少ない。／お金集めをやることが多いが、災害寄付に町内会には必要か？／規則を守らない人がいて、町内会の規則をはっきりさせる必要がある。／祭りのときなど若い人たち

にリードしてほしい。一緒に山車作りができればいいのに。／室内ドームやホッケーの人工芝があるといい。／国体の全競技が地元で開催できるようになってほしい。／人口減少が心配。あまり人口の減らないまちになってほしい。／子ども達が帰ってくる職場のあるまちに。／春日台地区の道路に排水溝を作してほしい。／市内全域に排水管を通してほしい。／一方通行のシャッター通りがさみしい。／県内外から色々な人が集まるまちになれるは



ず。若い人も高齢者も元気で長生きできる三沢になる。

グループ4

少子化が心配。／古間木団地は若い人の入居者が少ない。／古小の生徒が減っていく。／若い人の



人口を増やしてほしい。／基地従業員は三沢市から積極的に採用してもらいたい。／若い人が働きやすい職場が増えれば、若者が住みたくなるまちになるはず。／古間木団地の遊び場に子ども達がたくさんいる地域になってほしい。／せめて隣や向かいの人とでも、気楽に付き合いができるようになったらうれしい。／高齢になり運転免許を返納したので、大変困っている。バスの券でサービスしてくれたら嬉しい。／青い森鉄道は各駅停車なので時間がかかる。新幹線にきてほしかった。／春日台地区は道路が狭くてたいへん。消防車が入れない道路がある。安全マップを作成して、消防車が入れない道をなくしてはどうか。／飛行機の騒音がひどい場所、悪臭のひどい場所がある。若い人

も老人も住みやすい三沢になれるはず。老若男女問わず、みんなが集えるまちになっているはず。

三沢 第7回 まちづくり 座談会

in 三沢小学校

2017年9月4日(月) 参加者8名

地域の課題・解決案・将来像について、
ワークショップでいただいたご意見をご紹介します。



グループ1

大人達がおしゃべりする場、若い人と交流できる場がない。／若い人が地域との関わりが薄いのが気になる。逆に親戚づき合いが多くて困るという人も。／三沢には優れた人材が数多くいるのに知られていない。**若者を三沢の宝だと思ってみんなで育てて応援したい。**／青少年ホームのような若い人が学べる場やサークルが少ないのでは。／全年齢で能力レベルに合わせた英語教育をしてほしい。／新若者の部屋を作ってはどうか。／誰もが英語でコミュニケーションできる楽しい三沢になってほしい。／教育のリセットが必要なのは。／ニーズが多様化しているのでニーズに合った情報提供を。／高齢者＝老いではなく、老若男女が学

び続けられるまちになってほしい。／孫に注意していない祖父母が気になる。／元気な高齢者が自立して年金に頼る人が少なくなればよい。／シルバー人材に登録するのにお金がかかるのは疑問。／子育て支援の充実で住みやすいまちにしてほしい(金銭的支援、医療支援、通学支援)。／**三沢のいいところ、住んでいる人をもっとPRしたい。**／安心な暮らしのできる三沢になってほしい。／結婚しない人が増えているのが心配。／空き家が多い。／天候不良で米や野菜が気になる。／県民カレッジの広報は知らない人も多い。／人とつながる世代間交流のあるまちになれるはず。学び続けていれば住民も輝いていられる。／世界一国際的な三沢市に。／市民が三沢のために何かしたい



と考える、市民全員がまちづくりに関わる三沢市になる。みんなが笑顔になっているはず!

グループ2

子供会活動やスポーツ少年団に参加する子どもの減少。スポーツ少年団は送り迎えや親の理解など色々問題もある。／高齢者に対する教育や啓蒙活動が必要なのではないか。／自分の頭を使って三沢市を良くするために知恵を出す喜びがあるとい



い。／高齢者が社会参加できるゆい場がほしい。
地域の伝統や食を通してゆるく世代間交流できる場を作ってはどうか。趣味や得意分野で老人が教える側になれる生きがいにもなる。／ビードルプラザのお年寄りが集まる場所を活用し

てはどうか。／高齢者と子どもが毎日ふれ合える、笑い声のあるまちになってほしい。／町内会の回覧板を回すのが負担(1日置いただけで止めないでくれと言われる)。回覧板は廃止してネット上で見られるようにしてほしい。／八戸の「まちぐみ」みたいな、地域のためにゆるく参加できる団体がほしい。／障害児の子どもがいるが三沢市の学校で身体ケア(リハビリ言語)が受けられず、親が八戸まで送迎している。送迎が負担で助けてほしい。／障害児が学区内の学校に通えないため地域に友達ができない。障害児が学区内の学校に通えて、地域にお友達がたくさんできる三沢市になってほしい。／教師に対して意見を伝える場所がなく、言動に問題のある先生は我慢せざるを得ない。／教育委員会に大

ごとではない気軽に相談できる窓口を作るなどして、教師に対して不信感なく安心して通える学校にしてほしい。／(広い意味で)自然災害や世界情勢など危機管理面で不安。地上の建物ではなく中央公園に地下施設を作ってはどうか。／三沢市に既にある施設をまず市民が使って楽しむことが必要。／「うわさカフェ」をもっと活用したいが、何となく入りづらい雰囲気がある。／三沢市に住みながら、海外旅行しているような気分になれるまちになってほしい。開放的で市外の人にも寛容なまちであってほしい。／**高齢者が誰かのためになれる、誰かの役にたてる三沢**になれるはず。生涯の幸福度が高まって、三沢市以外から人が集まり人口が増える。賑わいのあるまちに。



三 政 発 第 21 号

平 成 30 年 2 月 2 日

三沢市総合計画審議会

会 長 竹 林 秋 雄 殿

三沢市長 種 市 一 正

第二次三沢市総合振興計画(案)について(諮問)

第二次三沢市総合振興計画(案)について、貴審議会の意見を求めます。

平 成 30 年 2 月 7 日

三沢市長 種 市 一 正 殿

三沢市総合計画審議会

会長 竹 林 秋 雄

第二次三沢市総合振興計画(案)について(答申)

平成30年2月2日付、三政発第21号で諮問のありました第二次三沢市総合振興計画(案)について、慎重審議の結果、その内容を適切と認め答申します。

なお、計画の推進に当たっては、下記の事項について配慮されるよう要望します。

記

1. 計画を市民に広く周知するとともに、基本理念「未来へつなぐ 心安らぐ国際文化都市」の実現に努められたい。
2. 中長期的な視点に立ち、基本計画の進捗を管理するとともに、実施計画は毎年度検証し、公表されたい。
3. 人口減少・少子高齢化などの社会情勢を、的確に見極め対応できるよう、計画の弾力的な運用を図られたい。

第二次三沢市総合振興計画

発行 平成30年3月

編集 三沢市政策部政策調整課

〒033-8666 青森県三沢市桜町一丁目1番38号

TEL:0176-53-5111

FAX:0176-52-5656

E-mail:msw_seisaku@misawashi.aomori.jp

URL:<https://www.city.misawa.lg.jp/>

小学 6 年生が感じる「好きな三沢」

- 外国人も日本人もみんな仲良し
- 僕達が学校に行けるために（安全）雪かきをしてくれる、優しい人が多い
- 車が道を譲ってくれたらお辞儀をすること
- 犯罪がない
- おばあさんやおじいさんたちが優しい
- 平和で静かなところ
- 野菜を育てる農家が多いこと
- みんな優しい
- 施設（体育館など）の充実
- 給食がおいしい
- 静かで普通に暮らせるところ
- 公園のトイレがきれい
- 住み心地がいいから
- 争いが少ないところ
- 道にごみが落ちていない
- 全てが良いです
- 緑が多くてのびのびしているから
- あまり東京みたいにでかい建物が少ないところ
- みんなが心豊かなこと
- 市民のあいさつがいい
- 外国人がいっぱいいる

平成 28 年度三沢市民意識調査より

お問い合わせはこちら

三沢市役所 政策調整課 総合戦略室

TEL:0176-53-5111(代表) FAX:0176-52-5656

 msw_seisaku@misawashi.aomori.jp